

ゴウ
黒田剛
(14)

ミサキ
藤原美咲
(14)

—それで
話ってなに？
さっさと済ませて

彼氏いねえ
んだろ？
美咲

俺の女に
なれよ

私あなたみたいな
気安く女子に触れる
クズに興味ないから

それにタバコ臭い
離れて
吐き気がする







お前停学が解けて
2週間も経ってない
だろ？



ぶん殴られる
前によ笑

はっ雑魚は
引っ込んでけ

優斗…



今やめるのが
身のためだ

ユウト
佐藤優斗
(14)



もう一度停学
くらってみろ
次は退学処分だ

そういえば…
お前の父親かなり
厳しそうだったな…
たしか軍に勤めてる
んだっけ？

また学校に
呼び出されても
いいのか

キ



そんなにケンカ
売りたいなら
アタシが買って
やるって

リョウコ
高橋涼子
(15)

だから俺が選んだ道は
俺なりのやり方で
誰にも文句を言わせず
認めさせること

常に学業では
トップの成績を
維持し続けた上に

スパarring
したいなら
いつでも来な

ガ
シ

ぐう…

うんざりするほど
付き合ってるからさ!

グ
イ
ッ

これ以上
醜態晒したく
ないなら
タップしな

クソがアッ!

涼子…
もういい…
大丈夫だから

え?
あ…
うん



おい剛!!
またお前か?!
今すぐ職員室に
来い!!

誰がためえの指図
なんか受けるか
このハゲ

な...なんだと
この礼儀知らずが!!

おい 優斗...
これで終わりだと
思うなよ

いつか必ず
叩き潰してやる

だけど...
その時の俺は
知らなかった

このガキ!!
明日保護者を
連れてこい!

あーあ 残念
やつと面白く
なってきたとこ
だったのに

俺たちの
悪縁は

まるで
運命みたいに
断ち切れないもの
だったことを...

あの子は昔から
変わらないわね…
小さい頃から
いつも優斗のこと
実の姉みたいに
守ってくれて…

涼子ちゃんから
心配だって
連絡があったわよ…
あなたが
電話に出ないって

ああ
そうなんだ

ええ…
一度連絡して
あげなさい

それと…
担任の先生とも
お電話したんだけど
あの子…黒田くん
学校辞めたそうよ

そういえば
あの子も
お父さんと
二人暮らしだって
聞いたわ…

ユカ
佐藤由佳
(33)

なんだか可哀想ね…
ちゃんと面倒を見て
もらえなかったの
かしら…

全部アイツ自身が
やってきたことだ
なら全ての責任は
アイツにある

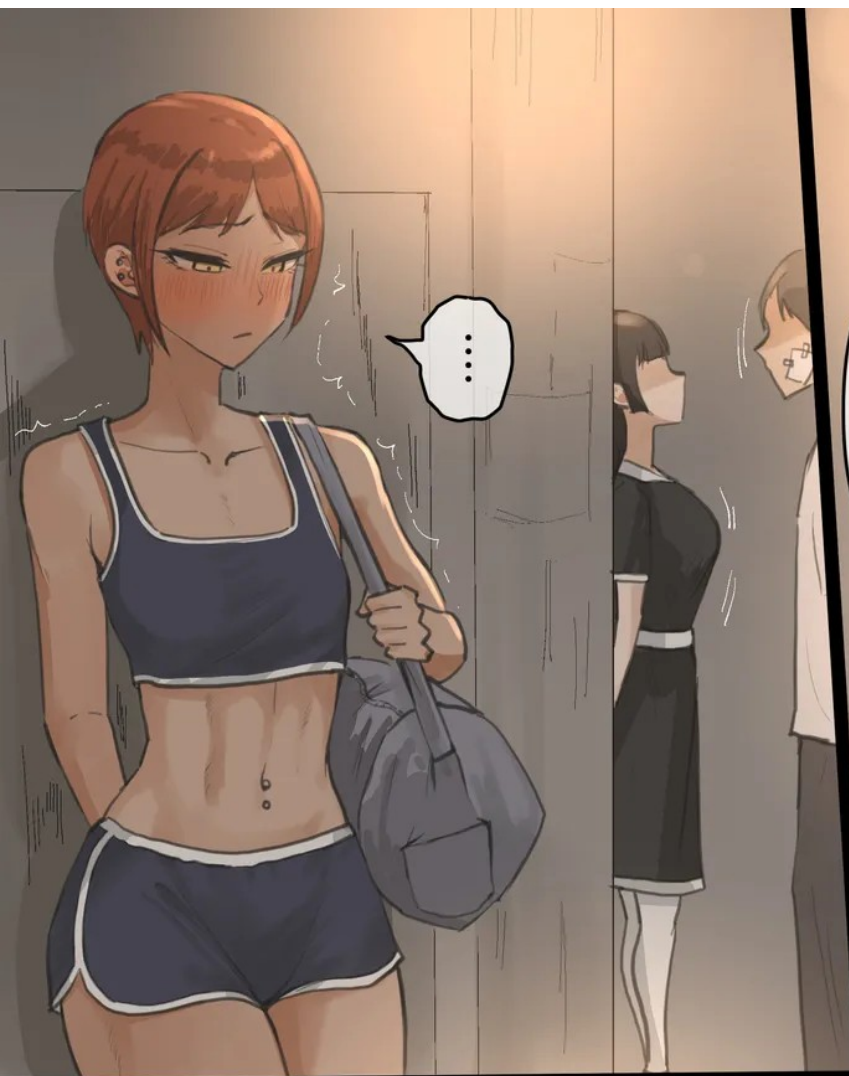
環境のせいに
するなんて
卑怯者の
することだ…

…お母さんね
優斗のそういうところ
本当に立派だと思う
いつも感謝してるわ…

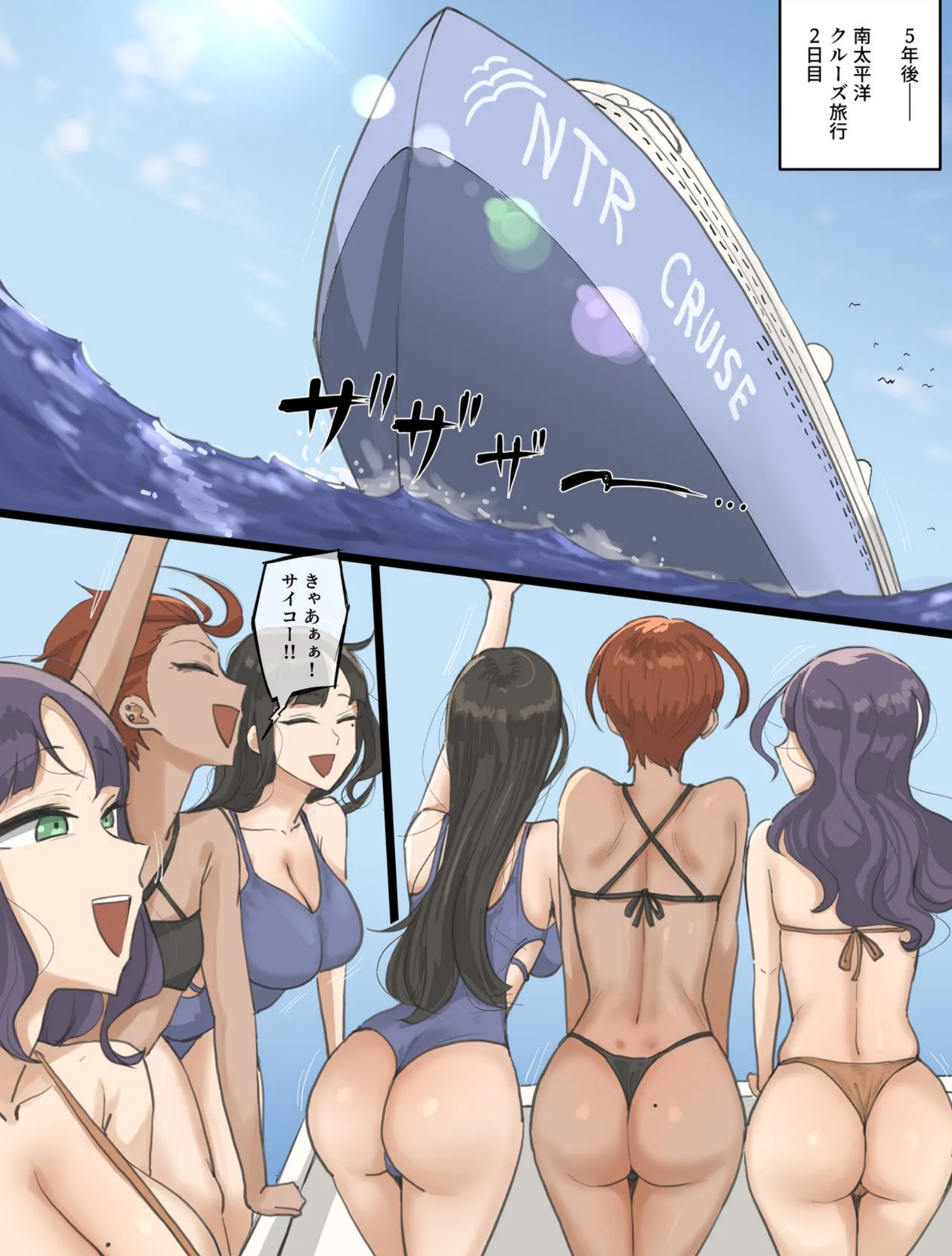




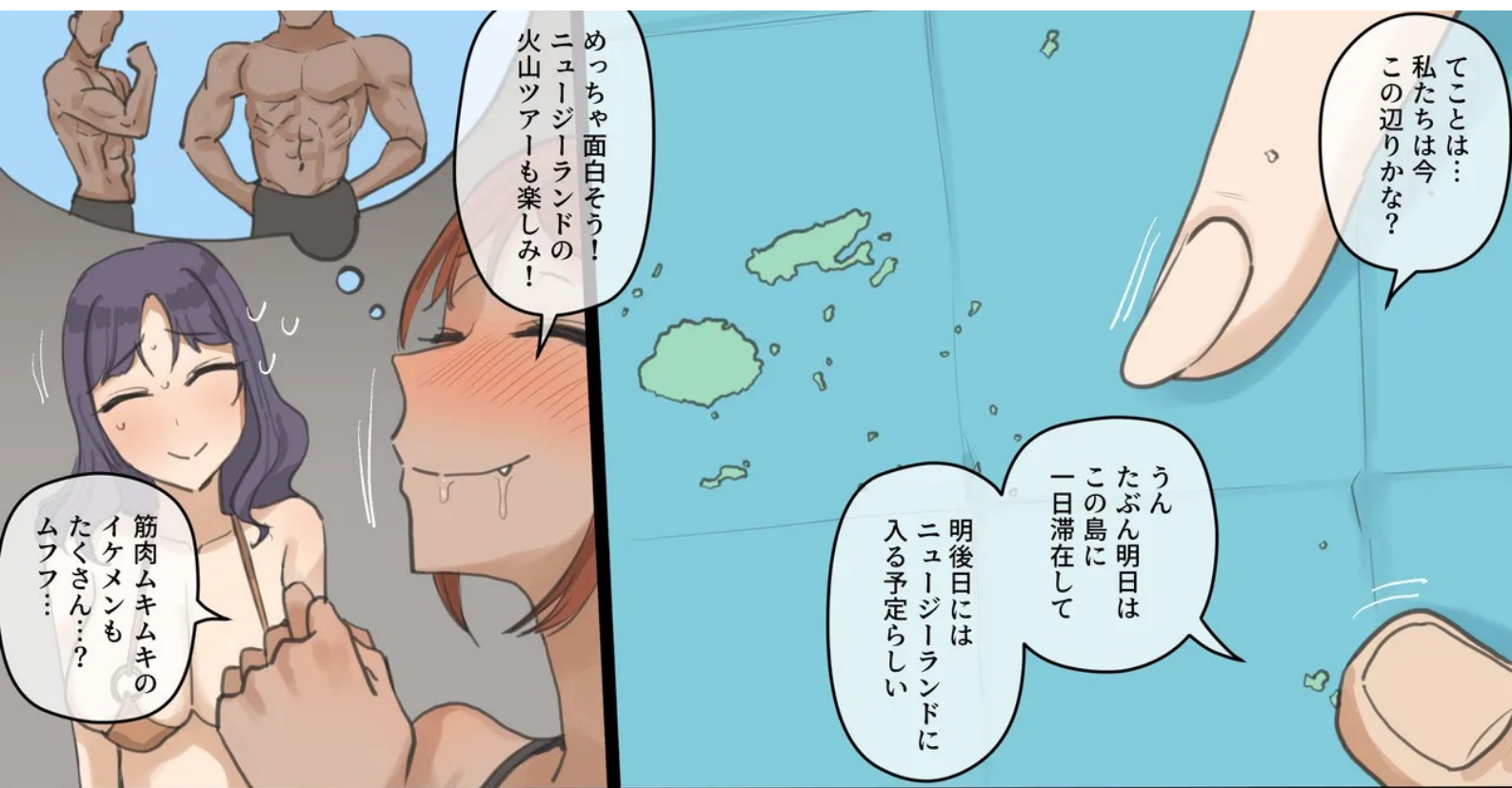


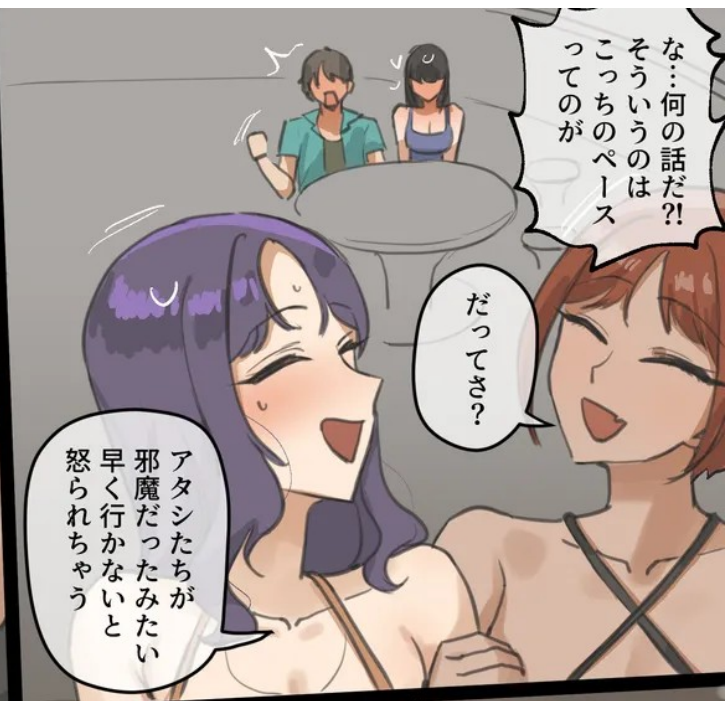


5年後—
南太平洋
クルーズ旅行
2日目









にしても…
こんなところで
会うとはな

このっ…!
いきなり
何すんのよ!!

おっ…美咲か
相変わらず
イイ女だな笑
結局優斗と
くっついたのか
ウケるな

そんで
こっちの女は?
お前らの姉か?

こりやまた
暴力的な
パイオツ
してんなあ

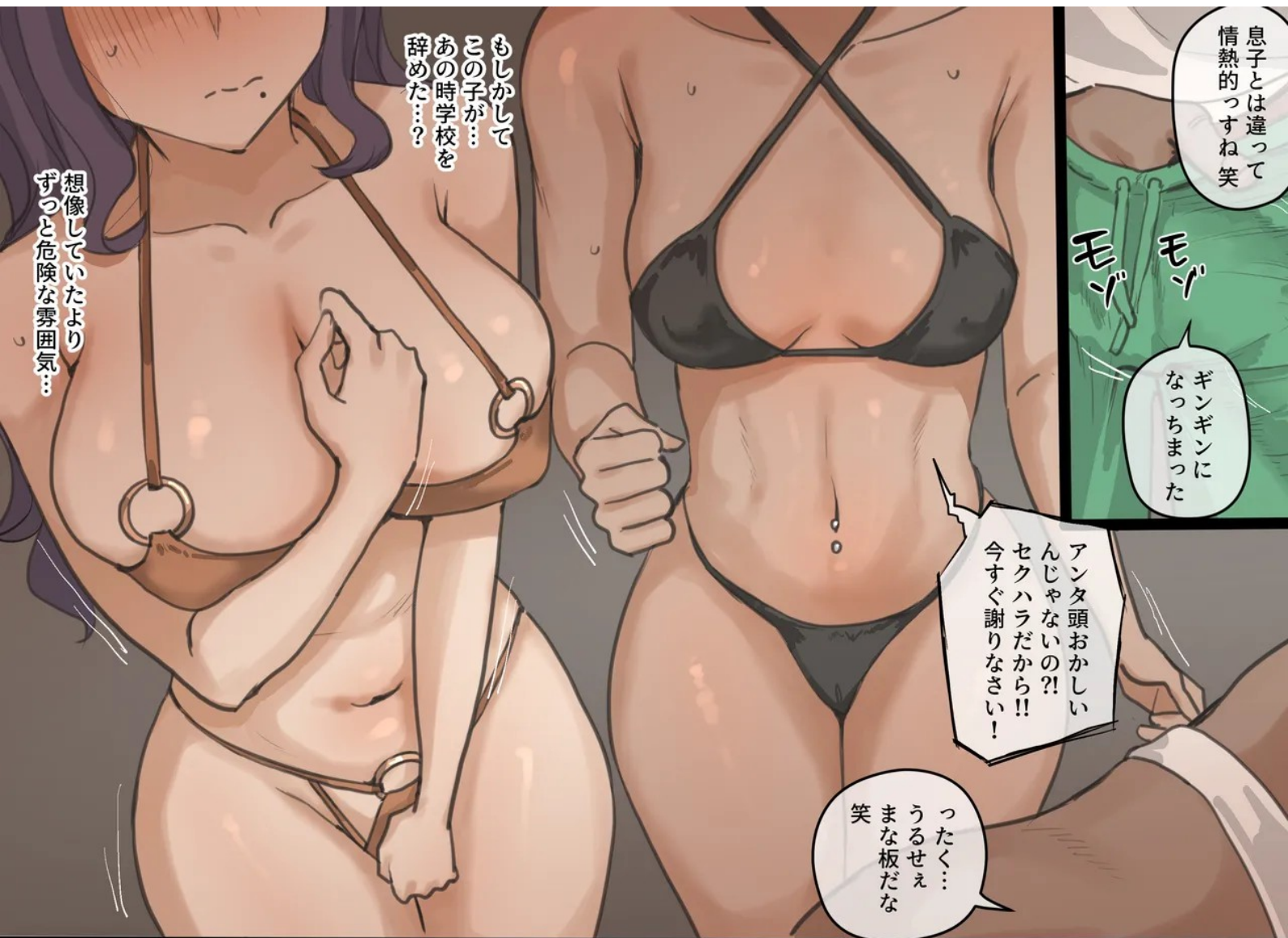
おいっ彼女は
優斗のお母さんだ
言葉に気をつけろ!

は?
優斗のお袋?
マジかよ笑

な…何
この硬い身体…
本当にコイツ
あの黒田なの?

コイツ…
見ない間に
随分とデカく
なったじゃない

フー…



息子とは違って
情熱的っすね笑

モゾ モゾ

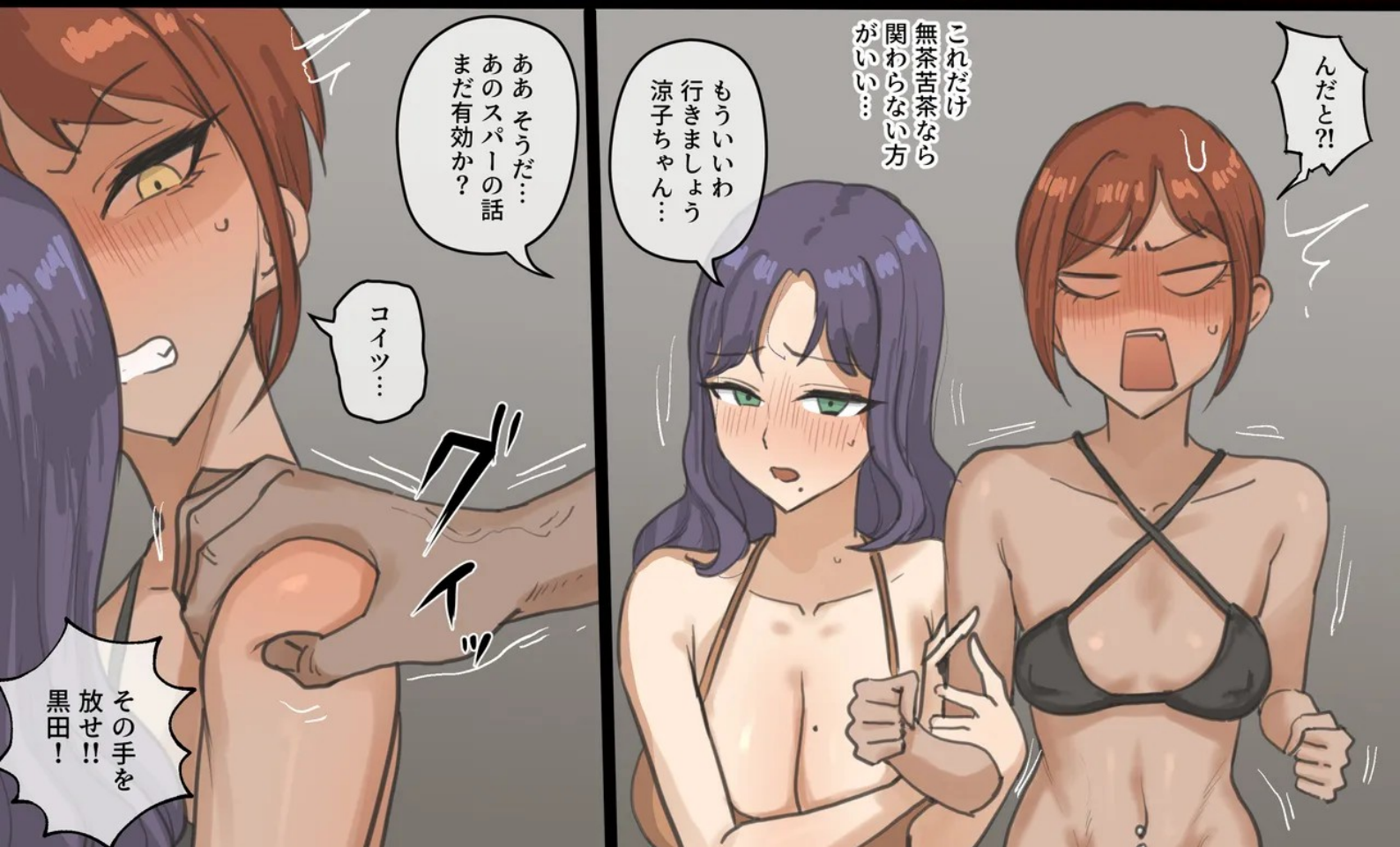
ギンギンに
なっちまった

アンタ頭おかしい
んじゃないの?!
セクハラだから!!
今すぐ謝りなさい!

ったく…
うるせえ
まな板だな
笑

もしかして
この子が…
あの時学校を
辞めた…?

想像していたより
ずっと危険な雰囲気…



んだと?!

これだけ
無茶苦茶なら
関わらない方
がいい…

もういいわ
行きましょう
涼子ちゃん…

ああそうだ…
あのスパーの話
まだ有効か?

コイツ…

その手を
放せ!!
黒田!

乗客の皆様は船長より
お知らせいたします
ただいま近隣海域にて
大規模な地震が発生
当海域に津波警報が
発令されました

緊急事態発生！
緊急事態発生！

ただちに客室へ
お戻りください
甲板への移動は
固く禁止いたします

もう一度
彼女たちに
触れてみる
次は……

なんだよ
この海流の動き……！

緊急事態発生！
緊急事態発生！

え？
いきなり何
津波？

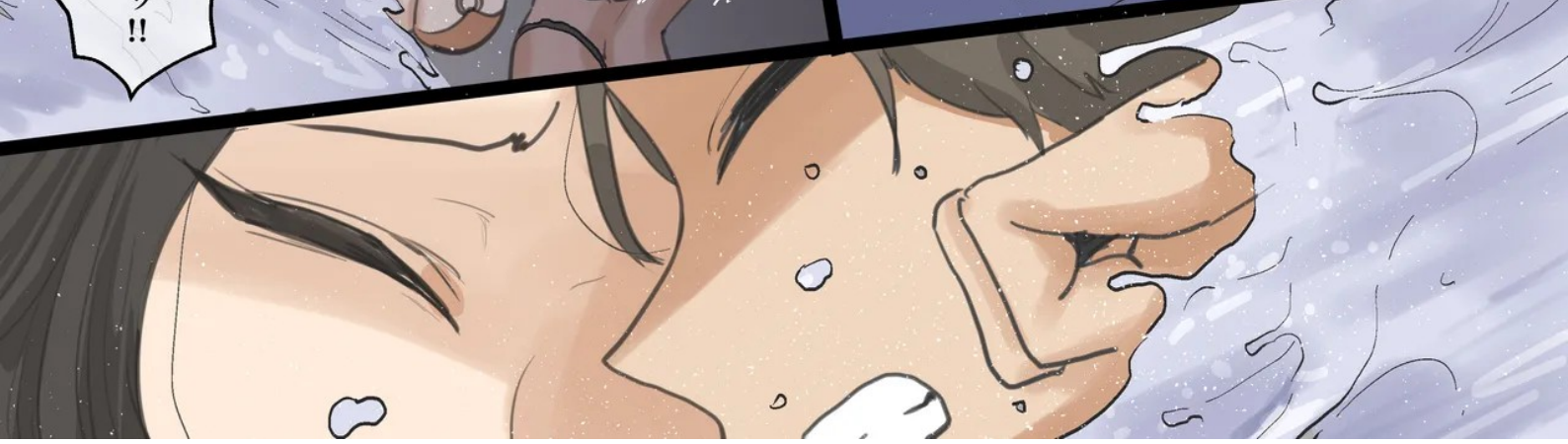
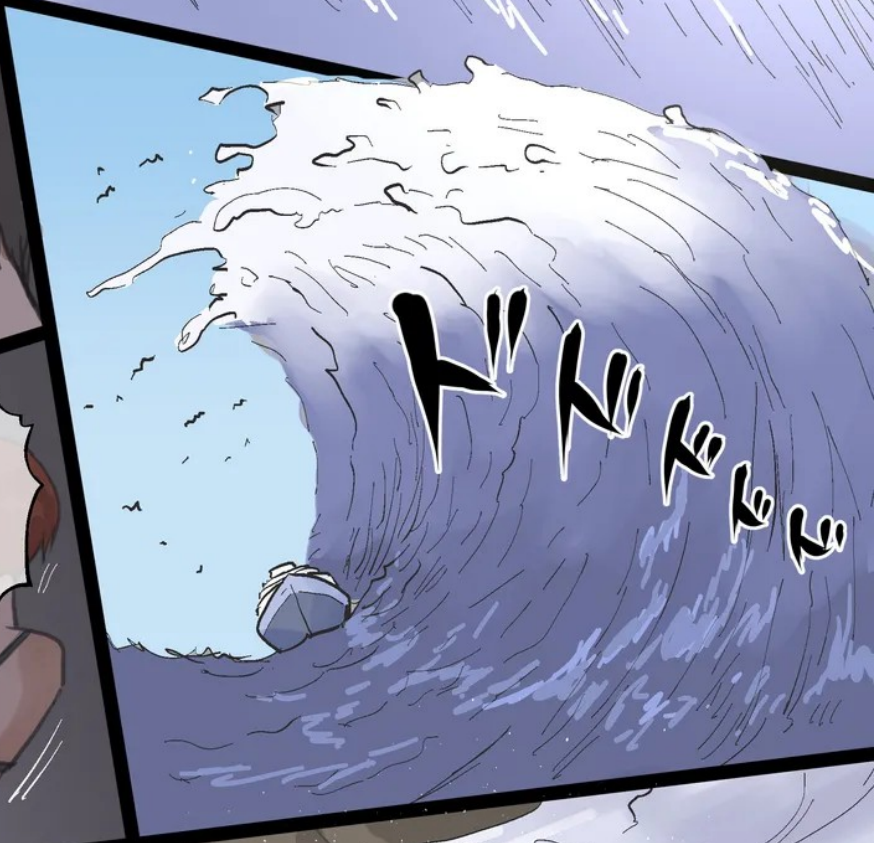
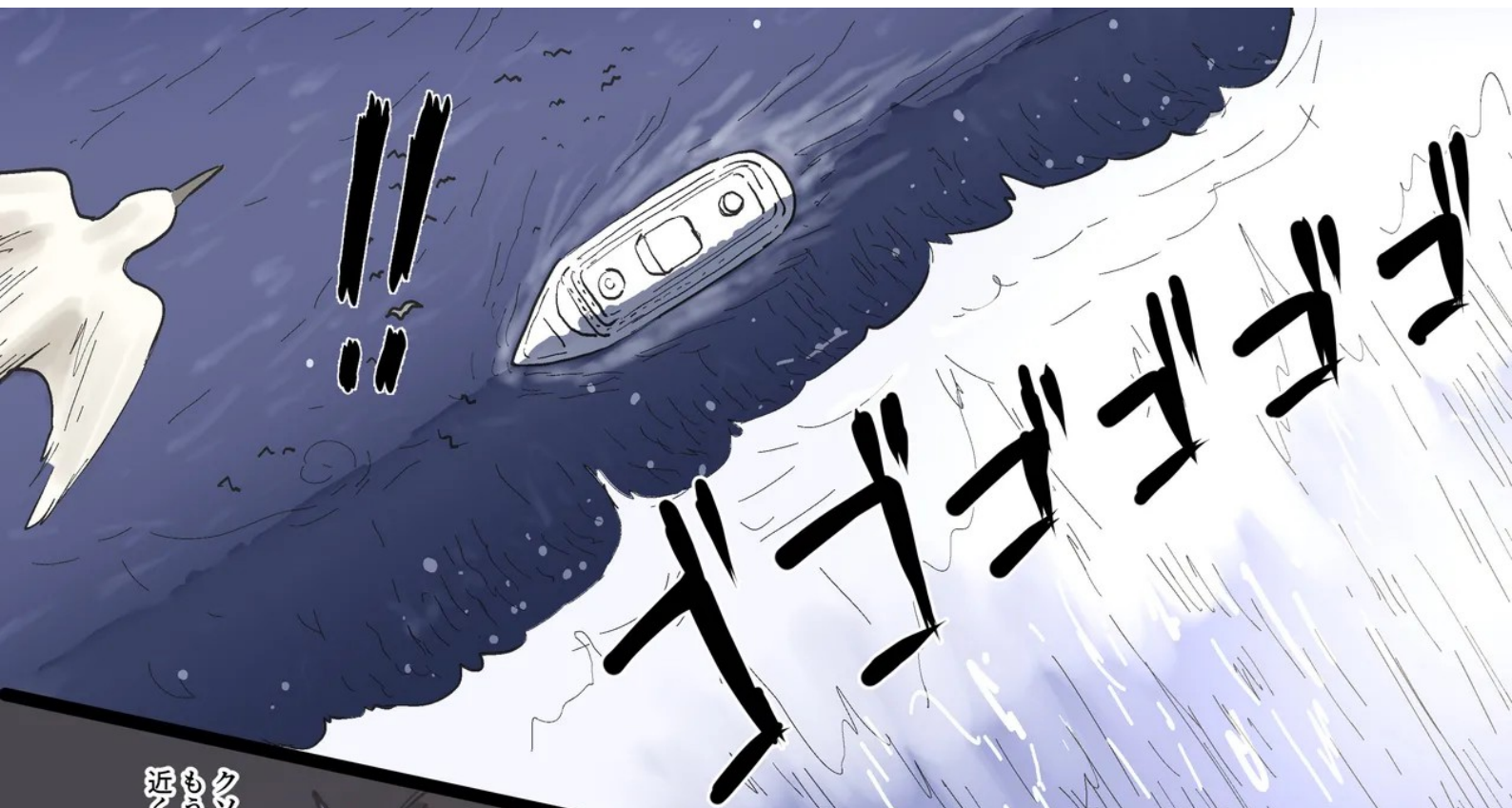
乗組員の指示に従い
救命胴衣の着用準備を
してください！
繰り返し申し上げます

ははっ……
ドッキリか
なんかだろ……

これって……
もしかして……
とんでもない……

キャー
うわあああ……！！
あ……あれっ！

ザー
ザー
ザー



DAY-01

事故発生から
6時間後

まったく
生きてるってのは
最高だな…
だろ？

んっ…でも…
本当に見たの…？
嘘じゃないわよね？

間違いねえって…
木箱に掴まった
美咲と優斗の二人が
流されてった

はあ…
はあっ

あ
あっ

ザザ
ザザ

ザザ
ザザ

だから
安心しな
アイツら
絶対生
きてるさ

涼子ちゃん…
ごめんなさい…
手を離しちゃって…
無事かしら？
お願いみんな
生きていて…

んう…

かあ…!!
お婆さんの
Kカップおっぱい
マジで極上だな…
もちもちで…
弾力も最高だぜ…

ムニョ〜

ムニョ

なんですって?!
約束が違うじゃない!

胸を好きに
させてくれたら
明日すぐにあの島へ
連れて行くって…!

あー…でも
やっぱ今日は
無理したからか
ちと疲れたわ
回復するには
ここで一週間は
休まねえとな?

ギョ

お婆さん
ウブなんだな
ククッ

たかが脂肪の塊を
揉ませただけで
俺をコキ使うつもり
だったのか？

多野郎...

はぁ...

ん...

あ...

スリ

スリ

お...乳首ビンビンに
硬くなってんぜ♥
ほらここでやめたら
おばさんも
物足りねえだろ？♥

ん...はぁ
あ...

ん...はぁ
あ...

ぎゅっ

待ちなさ...

あ...あ...あ...

俺は命の恩人だぜ？
全てを差し出したって
足りねえくらいなのに
デカイ乳に反して
器はちっせえなく

いいから
俺を喜ばせてみる
俺もそれ相応の
お返しをしてやる
ギブアンドテイクが
俺の信条なんでな

あ...

ぐりぐり



おら...
さっさと
股開けよ♥

もう
びしょ濡れに
なってるんだろ

あんっ

待って!
黒田くん...

ああ...?

それじゃ...口で...
口でしてあげる...
それで十分でしょ?
ね?

いらねえな

いやっ...

俺が今
気になってんのは
ここなんだよ...♥

あのクソ優斗を
産んだ
この場所がな





な...なに？

ボロン♡

この
大きさ？



悪いけど...
こんなの
全部は入らないわ
半分くらいなら！

バカ言うな
お前経産婦だろ？
この穴から
ガキひりだした
くせによ

そ...それと
これとは
ちがっ...♡
違うわ!!

マンコ緩めろって
そんなガチガチじゃ
入らねえだろ？ 笑

そんな
ビビんなよ
おばさん
ククッ

ドキ♡

こんな暴力的な
サイズ...
初めて見た！

あ...
あっ...
来る...

すぐイかせて
やるし
絶対気に入るぜ
俺のチンコ♡



ああ...
マンコ
きつつ!

はあっもう...
これ以上はムリ...
奥届いてるから...

いちいち騒ぐな
黙って俺のチンコ
啜えてろ!
子宮の奥まで
エグってやつから

一体どこまで
入ってくるの?

んぐう...
んぐう...

おっ
おっ
おっ

クソっ...
どんだけ締め
やばいんだよ
このマンコ...

すぐイっちゃ
まいそうだ...
ああ...

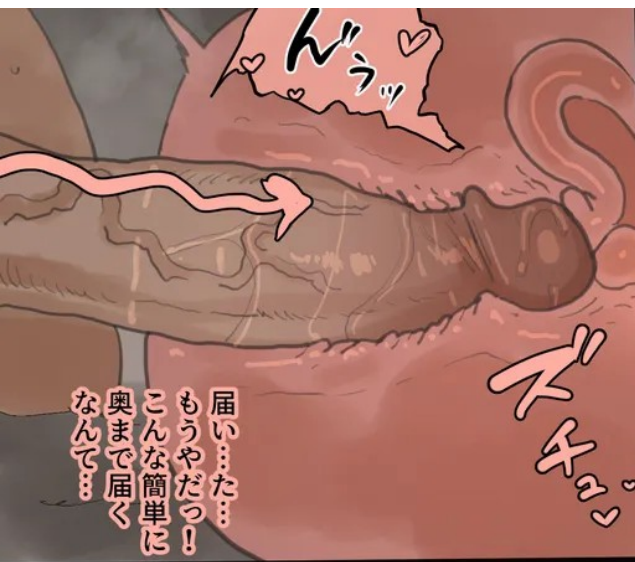
お
お
お

あ
あ
あ

ぎゃう...

どちゃ...

し...子宮が
持ち上げ
られてる?!



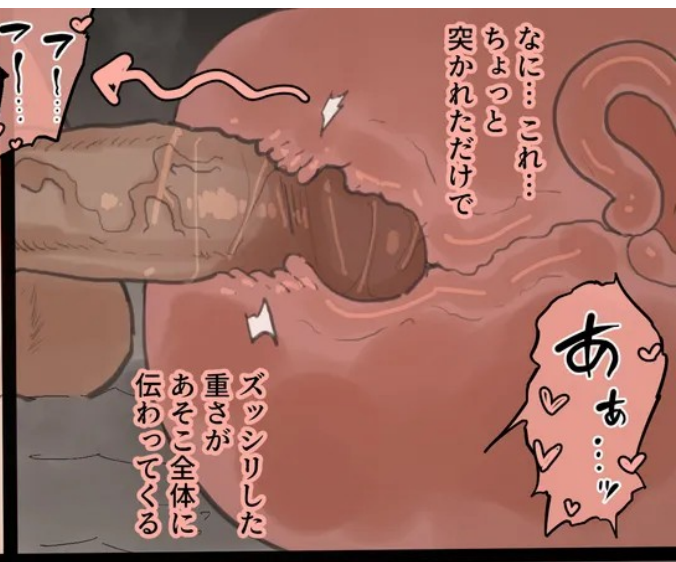
んうッ

届い…た…
もうやだっ!
こんな簡単に
奥まで届く
なんて…

ズキッ



あぁ…
また入って
くる…



なに…これ…
ちょっと
突かれただけで

あぁ…ッ

ズッシリした
重さが
あそこ全体に
伝わってくる



あーイキそう
ヤバいわこれ
気に入った笑

俺のチンコどーよ?
最高だろ? ん?
由佳ちゃん彼氏いんの?
俺の女になれよ

由佳ちゃんだなんて…
気安く呼ばないで!!

ふざけるな!!

おおおッ

あぁッ
ん

おッ



ごめん
由佳ちゃん…
俺たち別れよう

18歳で優斗を
身籠ってすぐ
あの人は
私たちを捨てた

あの子を快樂の
おまけかのように
扱った彼のせいで
私は男性不信に陥った



そうしているうちに
女としての自分を
少しずつ忘れていった

だけど…
私は幸せだった
優斗は私の期待を
遥かに超えて
すすくと
よく育ってくれた



私に言い寄ってくる
数え切れないほどの
男たち…

男なんて結局…
皆同じだわ



母さんまだ若いなら
寂しくないのかなって
母さんの人生だって
大事なんだから…

今になって
ようやく少し
勇気が湧いて
きたのに…



私の外見しか
見てないんだから



えっ？

なによこれ
おろして!!
あっ♡

うるせえな
黙ってマンコ
締めとけ!

ものすごい力!!
私かなり重いのだ
オモチャ扱い
されてる...

本当に優斗と
同じくらいの
歳なの？

この体位で
やったことある?
由佳ちゃん♡

やだあ...っ
こんなの
耐えられない!!
またイっちゃう

あああくる♡
だめだめだめ♡
さちやうう♡

だめっ!!
やめでえ!!
お願いっ!!

突くたびに
潮吹いてんじゃん
ちゃんと水分温存
しとけよ



母親としての尊厳を
壊されちゃう...

おうッ

んおおく...

ハハハ
またいったな
由佳ちゃん♡
オナホの資格も
バッチリだ♡

ぽっ♡
プッ♡
チャア♡
アッ♡

そんじや
今度は気持ちよく
一緒にイこうぜ♡

あっちょ...
ちよつと待って
黒田くん!!
もう無理い...
無理だから...!!

あああ...
イイ...♡
最っ高♡

つっても
由佳ちゃんの
マンコ名器すぎて
俺もすぐイきそう
だけだな

ぬち♡





DAY-02

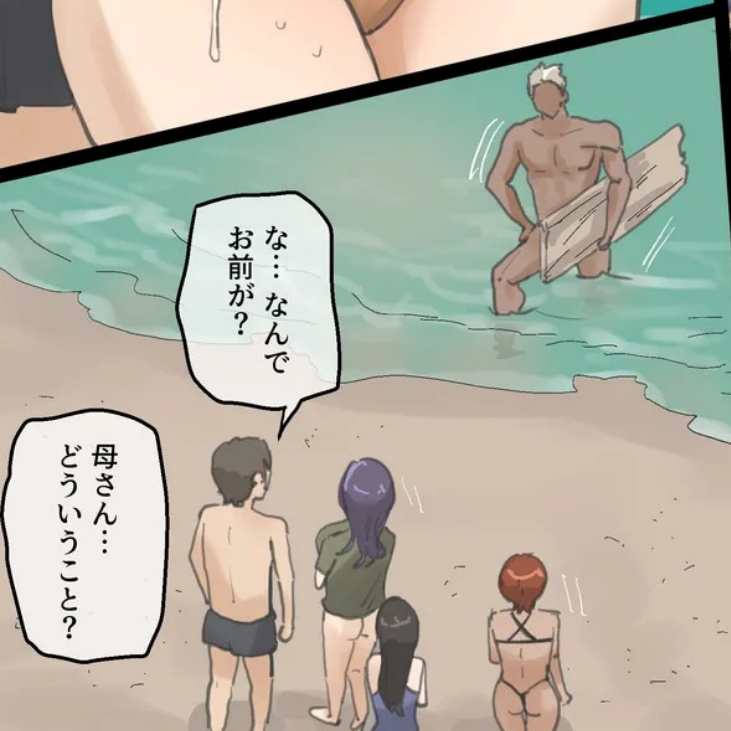
母さん…
どうやって
ここまで？
怪我はない？

ええ
大丈夫よ

あなたたちこそ
怪我はない？
みんな無事で
よかった

母さん!!

おばさん!!



な…なんで
お前が？

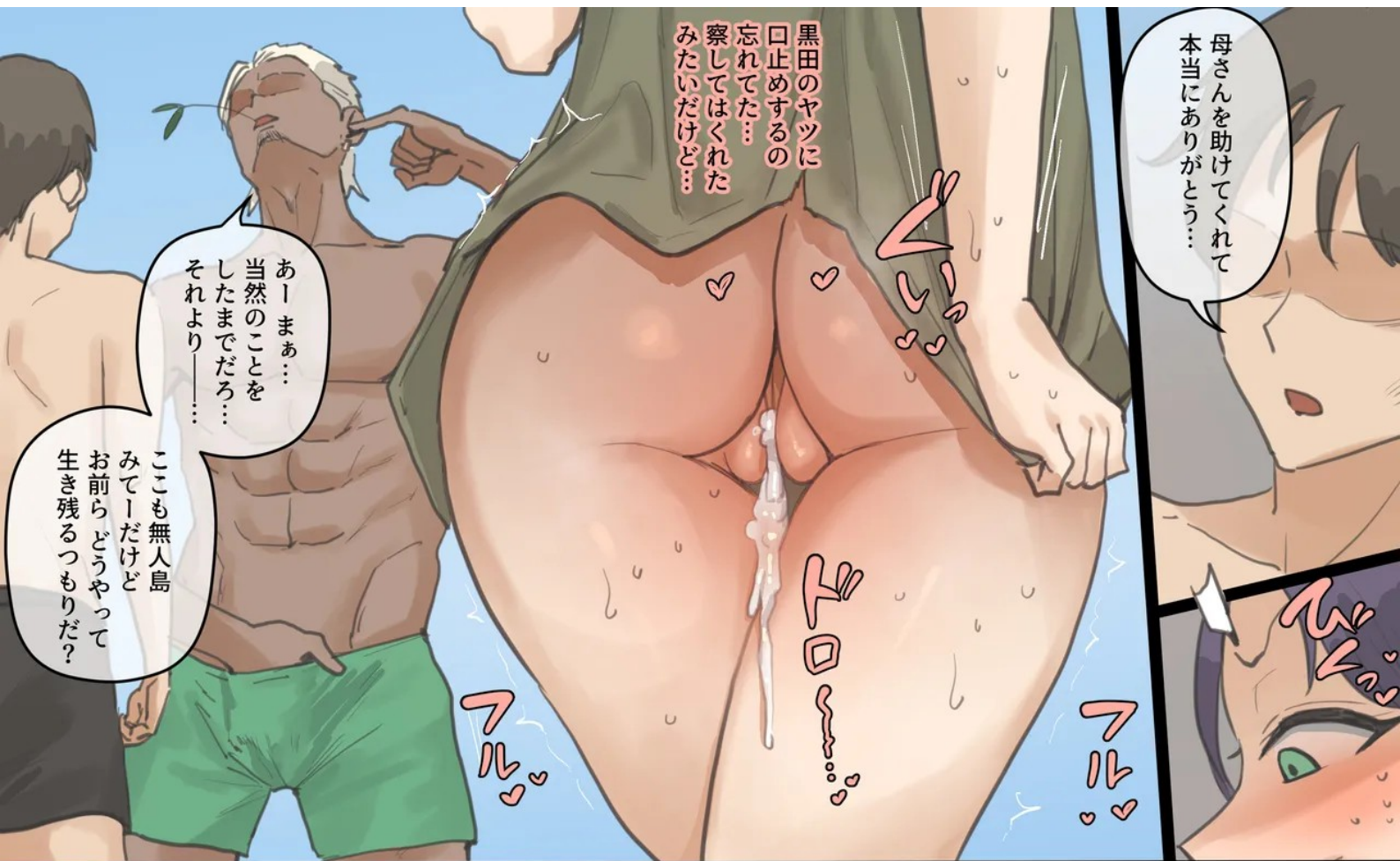
母さん…
どういこと？



オイオイ
全員生きてん
のかよ笑

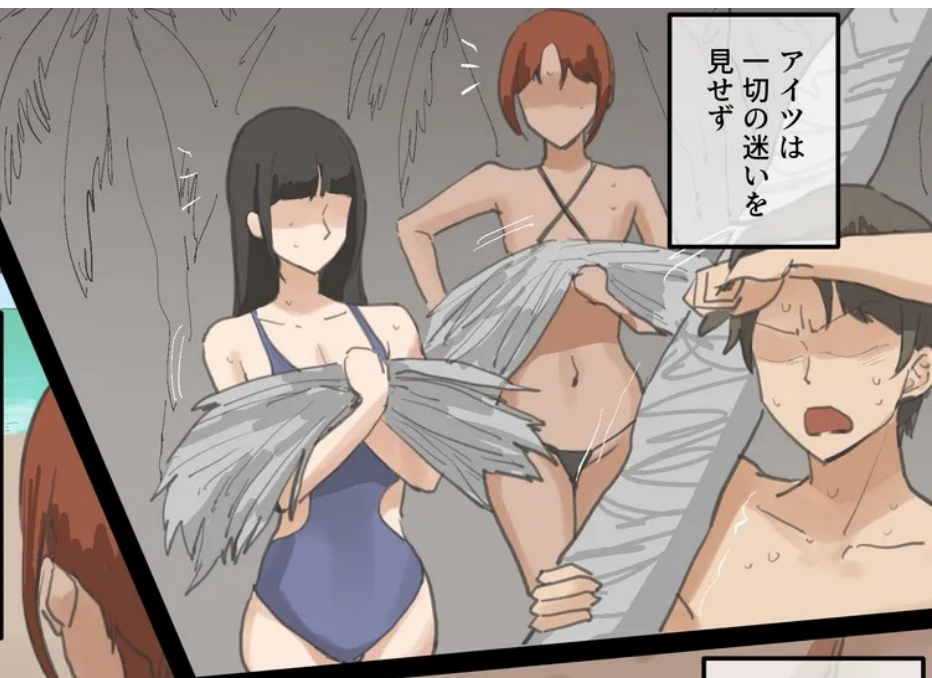
これぞ
奇跡って
ヤツか？



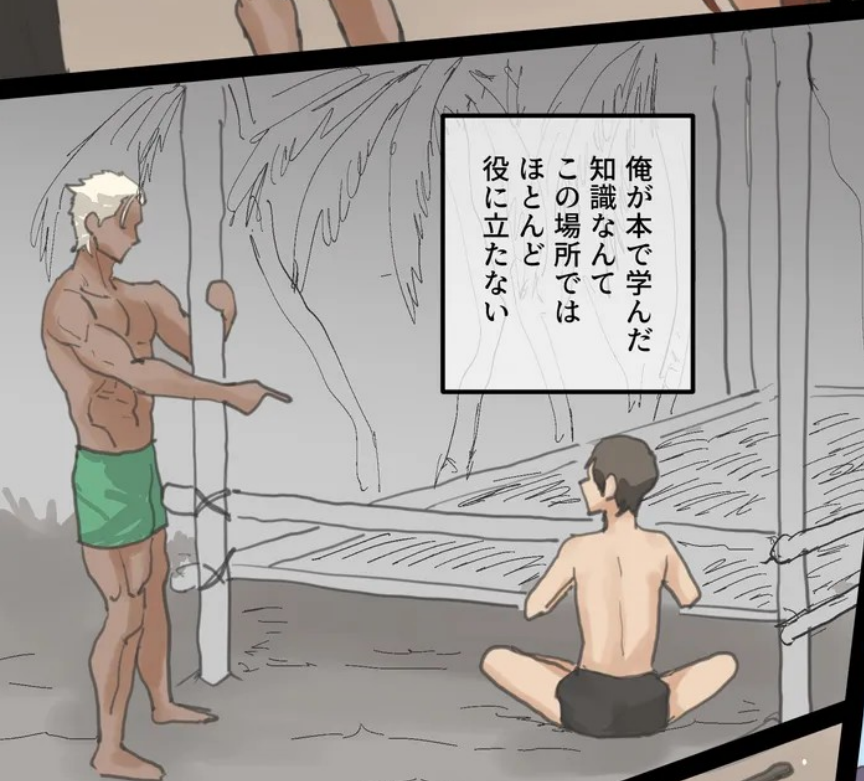




まるで何度も
こうした危機を
乗り越えて
きたかのように
場を仕切っていた



アイツは
一切の迷いを
見せず



俺が本で学んだ
知識なんて
この場所では
ほとんど
役に立たない



アイツが現れてから
彼女たちは
みるみる落ち着きを
取り戻していった



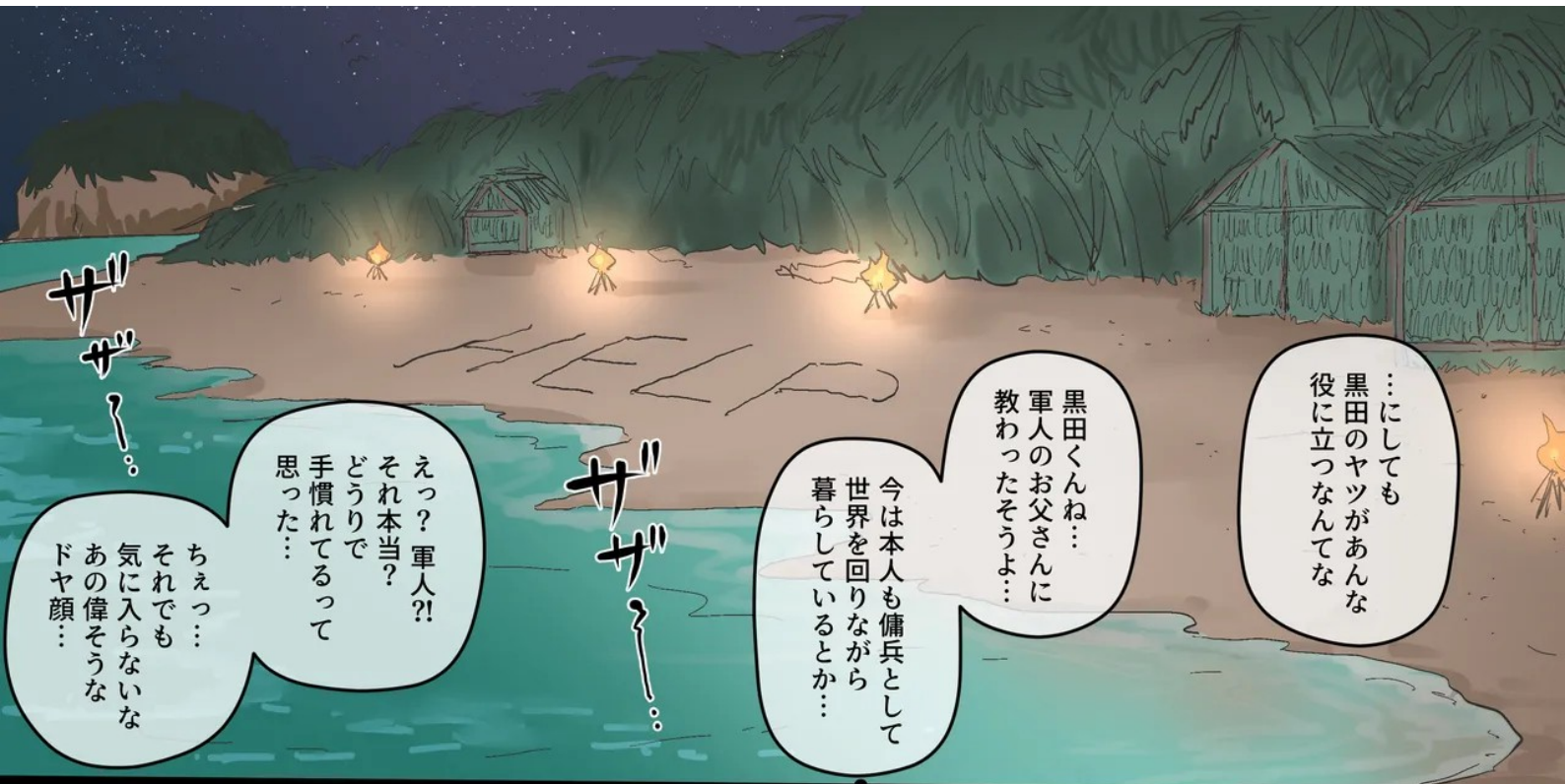
そして俺は
自分自身について
改めて考えさせられる
ことになった



もしかしたら
過去の記憶に囚われて
アイツをちゃんと
見ていないのは
俺自身なのかもしれない…

れろっ
れろっ
れろっ

アイツは…
完全に違う人間に
なって帰ってきた



：にしても
黒田のヤツがあんな
役に立つなんてな

黒田くんね…
軍人のお父さんに
教わったそうよ…

今は本人も傭兵として
世界を回りながら
暮らしているとか…

えっ？軍人？！
それ本当？
どうりで
手慣れてるって
思った…

ちえっ…
それでも
気に入らないな
あの偉そうな
ドヤ顔…



おい優斗…
これで終わりだと
思うなよ

いつか必ず
叩き潰してやる



おばさん
アタシね…
ポジティブに
考えるよ

救助隊が来るまでの
素敵なバカンスを
過ごすって
考えることに…





待ちくたびれたぜ
アイツらは寝たか？

ほら
さっさと脱いで
こっち来いよ♡

うおっ♡
由佳ちゃんの
身体エツロ♡♡
やっぱ10代で
子供産むだけは
あるわ



昨日夜通しやって…
今日は二日中働いたのに
どんな体力してるの？

私を見るなり
勃起させて…
これが若さ
かしら…

うるせーっ！！



私を弄びながら…
完全に自分のペースに
巻き込んでる…っ

ほんつと
生意気なヤツ…

とろ…

ムニョ〜…♡

…もういいわ
時間の無駄だし
さっさとイかせて
終わらせてやるん
だから…

れろ…
れろ…

ぬちゅ♡

れろ♡

ぬふ♡

いく時は…
ちゃんと…っ
声に出しなさいよ…んっ

これ…
すげえな…
おお…

れろ♡
れろ♡

ぬろ〜♡♡♡

ぐぽ♡
ぐぽ♡
ぐぽ♡
ぐぽ♡
ぐぽ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

くうっ…
パイズリフェラ
マジで最高!!



黒田くん！
一回セックス
したくらいで
私を軽く見ないで

いい？
はつきり言っておくわ…
私は優斗の母親なのよ！
アナタなんかより
ずっと大人なんだから！

もう二度と気安く
由佳ちゃんだなんて
呼ばないで
おばさんって
呼びなさい！

約束どおり
今日2回目の射精
だったんだから
私はもう帰るわ

ん？
そうだったか？
ああそ…
夕方フエラで
一発抜かれてた
んだっけな…

じゃあ
仕方ねえ…♥

えっ？



射精しないで
セックスする
しかねえな...

この...っ!
クノ野郎!!

俺はセックスしねえと
眠れねえんだよ♥
だからやろうぜ
由佳ちゃん♥

クリがぶつくり
勃ってんぞ
由佳ちゃん♥
大の大人がそんな
赤ちゃんみてえに
泣いていいのか?
ん?♥

クンニなんて
恥ずかしくて
死にそう...!!

返事するまで
止めねえからな♥

ああッ
ん...ッ

あッ

ああ...ッ
そこだめッ

ああッ
ん...ッ

ったく...
マジで頑固
だな♥

いやよっ!
絶対に約束は
守って!♥

今日は
だめえっ♥

ああだめ
もうムリ!!
イクっ♥
イっちゃう!!♥

クソっ
仕方ねえ...
おらいけっ

昼間は精子で子宮
パンパンにしなが
らよく平然と息子と
会話出来たなあ？

あれそそったぜ
俺だけの秘密
みたいでさ♥

そろそろ
日付も変わった
かもなあ？
♥

一人でいくのも
寂しいだろ？♥



ケダモノみだいに
私が私じゃなく
なっちゃう……っ

おおっと♥
またマンコ
締まってんぞ





うおー…
やべえ…
中出し最高♥

おん
お
お

脳が溶け
ちやいそう…

こんなの
もう無理…

ぬ
ふ
…

おいおい…
マンコが咥えこんで
放してくれねえよ♥

優斗ママは
チンポが大好き
なんだなあ♥♥

はあ…

あ

あ

DAY-15

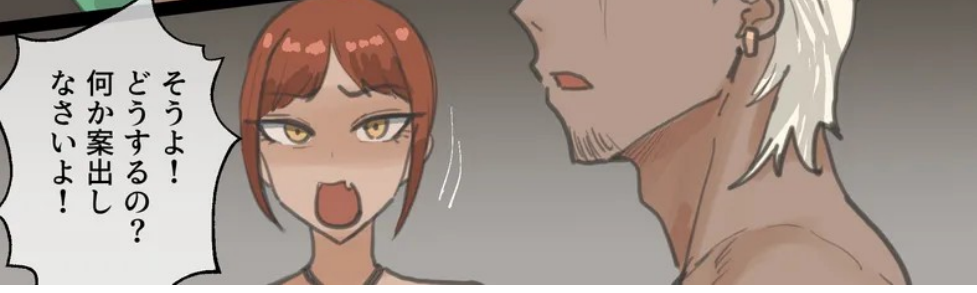
バサバサ

無人島に漂流して
もう15日目――

救助の希望は
だんだんと
薄れていつて
いる

どうしたの
母さん?!
一体何が...?!

あ...っ
あれ...



一人だけか？
よほどついて
なかったんだな

もう半月も経つの
に
救助は来ないし…
このままじゃ
私たちも…

?!

母さん大丈夫？
落ち着いて
俺の後ろに—

黒田くん…
わ…私たち
これから
どうすれば
…？

そうよ！
どうするの？
何か案出
さないよ！

最近
明らかに母さんは
俺よりも黒田を
頼りにしている

おいガタガタ
うるせえぞ！
お前ら全員
俺に命預けて
んだろうが！

弱けりや死ぬだけ
当たり前だろ？

浜辺に戻って
夕飯の準備でも
してろ

俺はここで
後始末していく
からよ

そんな母さん
を見せつけられるのは辛い
が俺にはどうすることも…

優斗…
お母さんも残って
黒田くんを手伝うから
あなたは先に戻りなさい
気をつけてね…

美咲ちゃんと
涼子ちゃん
お手伝いをして
夕飯の準備
お願い

優斗…

いや…
やっぱ一人
残って手伝え！

なんだ誰も
いねえのか？

おい優斗、
俺の魚は
カリッと焼けよ、
生臭いのは
勘弁だからな
ククッ

こんな時に
俺のチンポ
欲しがるのか…
息子に見られたら
どうすんだ？
由佳ちゃん♡♡

んっ…♡
ただノルマを
こなしている
だけよ…

またまた笑
最初からマンコ
びしょびしょに
してたくせに

この島では
不安と恐怖が
影のように
まとうりつく

正気を保つためにも
少しのあいだだけでも
忘れたい…

いつになったら
素直になんの？
由佳ちゃん♡

快楽に身を
委ねている時だけは
苦しみを
忘れられるから

初日から
一日も欠かさず
やってるんだぜ？
もう夫婦みたいにな
もんだろ♡

もう優斗を
仕込んだ男より
俺のほうが突いて
やったと思うけど
どーよ？♡

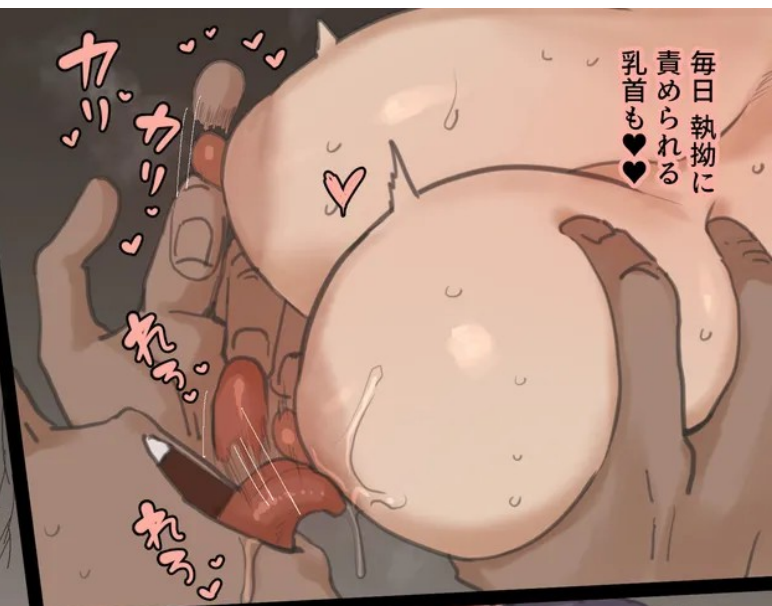


まだダメだよ
由佳ちゃん♥
俺の言うこと聞けたら
イかせてやるよ♥

えっ...?
なんで止めるの...
黒田くん...

っ...
いきなり
なによ...?

「黒田くんの
おチンポ大好き♥」
はい復唱♥



毎日執拗に
責められる
乳首も♥♥



子宮に響く
感覚も♥♥
これ...好き♥

あ...イイク
イクイク
イっくう♥♥♥



あは...は...
冗談でしょ?
黒田くん...

早く済ませて
ご飯にしましょ?
あまり遅れると
あの子たちも
怪しむわ

イヤか?
なら明日から
3日間はセックス
おあずけだな...

何ポーっと
してんだろ?
さっさと服着な
由佳ちゃん

ぬざっ...

おい：寝てんの？
由佳ちゃん♡

だめ：言っちゃだめ：

だめ：なのに：

く：黒田くん…の：

黒田くんのおチンポ…大好きよ♡

はあ…はあ…はあ…

おッ

おッ
おッ
おッ

おッ
おッ
おッ

やっぱ面と向かって言われるとキくぜ♡
イイ子だな♡
由佳ちゃん♡

ああ：言っちゃった♡♡♡
すごいのがキちゃう♡♡♡
ごめんね優斗♡
お母さんイっちゃう♡♡♡
今日だけ許して…♡♡♡

もう二度とこんなはしたないこと言わないから♡♡♡

おらマンコ締めろっ!!
ご褒美に俺の精子でたぶたぶにしてやるよ♡♡♡

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん



ハハハ
相変わらず
弱いな

意地張ってないで
タップしなよ
優斗

ぐっ…
いやっ…
まだまだ!

なんで急に
ガチになってんの?
もしかして黒田を
意識してるのか?

昔は色々誘っても
相手してくれ
なかったくせに…

むぎゃ〜♡

アイツ…
別に問題も起こさず
うまくやってるじゃん

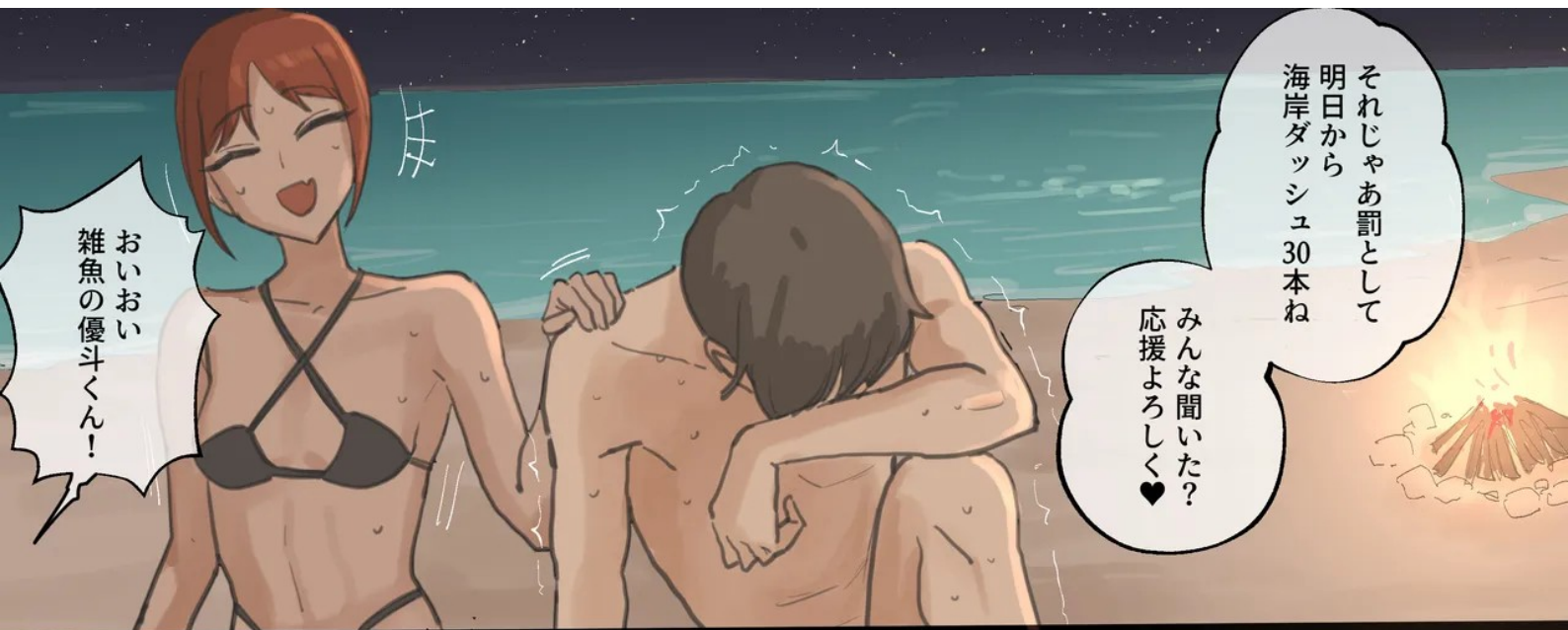


むしろ
黒田のおかげで
アタシたち
やっていけるし…

思ってたより
まともな奴
なのかも…

や…やめて
ストップ!!

パチ
パチ





アタシは
デカくないと
男として
認めないから!!

おー
いきなりかよ?
じゃあカウント
スタートだ!

這いつくばる
準備を……

馬鹿な奴:
毎日男相手に
組み手して鍛えた
耐久力だ

いくらガタイが
良いからって
プロのアタシを
5秒でなんて
無理に決まってる

力で強引に
返そうとするほど
アタシに利がある

どうやって
食おうかな
最初はやっぱ
正常位か?

え?
いつの間に
右足を?!
ちよつと
待って!

バックも
捨てがたいが

は?

かし、

ダ
ダ
ッ



なんだ今のは...?
あつという間で
目で追えなかった!!

おおー...
ケツでっけえな...♥
やっぱ鍛えてるだけ
あるわ

マン肉も
ぷりぷりで
美味そ〜♥

ムニッ♡♡♡

あん♡♡♡

ゆ：優斗!!
見るな!!

見たら
殺すよ!!

涼子!!
しっかりしろ!!

この状況で
まず気にするのが
優斗かよ?
匂うな〜?

そういや...
お前ガキの頃から
ずっとアイツに
付きまといってたな

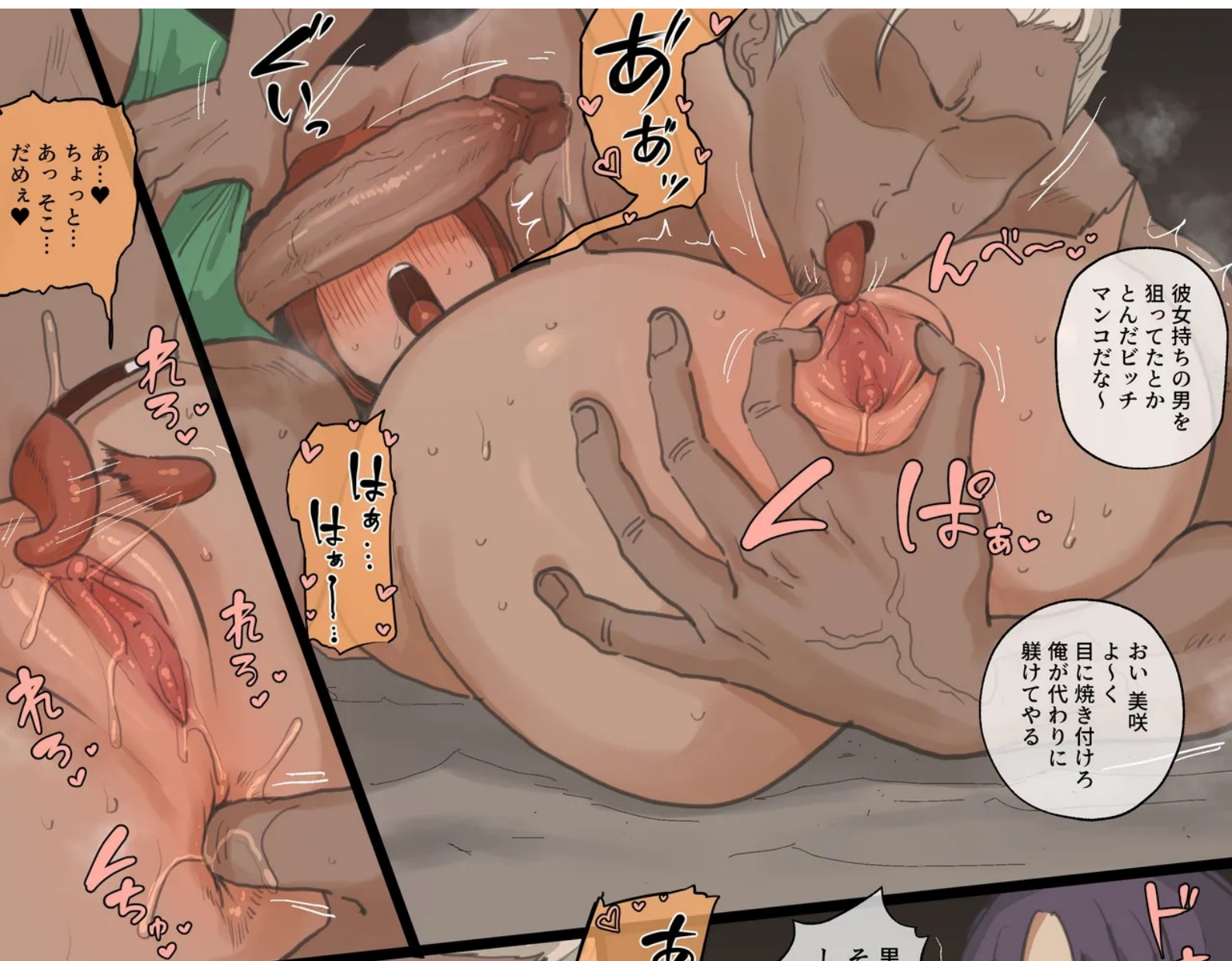
ぐいっ

な...なに?
この大きさ...

お前...
優斗のこと
好きなの?

ち：違うッ!
変なこと言うな!
早く放せ...ッ!
殺すよ!

も...
もう一回!
もう一回!
勝負しろっ!



彼女持ちの男を
狙ってたとか
とんだビッチ
マンコだな

おい美咲
よく
目に焼き付けろ
俺が代わりに
舐めてやる

あ
あ
ッ

んべー

ぱ
ん

はあ
はあ
はあ

れろ

れろ

んちゅ



黒田!!!
そこまで
しろっ!!!!

あ
あ
ん

あ
ん

ドキ

ドキ

口だけじゃなくて
かかってこいよ
いくらでも
相手してやる

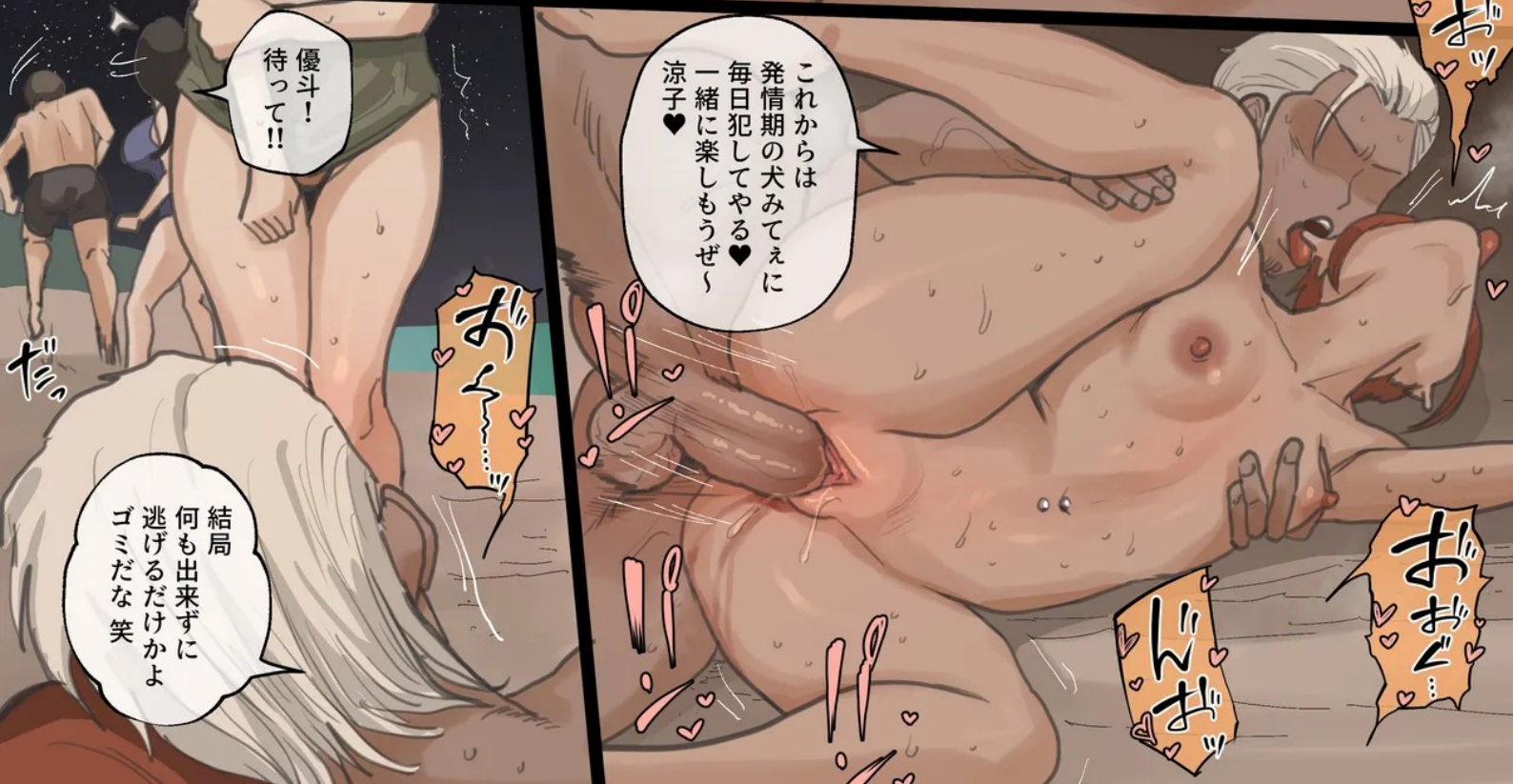
後悔する間もなく
さっきの死体の横で
寝ることになるぜ
分かったか?

クク
ビビりすぎだろ
おい 優斗くん
先生でも呼びに
行ったらどうだ

ゆ... 優斗には
手出すなよ
あっ♡
ころ... すよ...









この…野郎
おばさんに
なにしたの?!

はあ…
昼はノリノリで
チンコ啜えてたくせに…
女ってこえーな♥

あんっ

おっ

あれ…マジで
行っちゃった?

気にせず
楽しみやいのに
頭固いな♥

クズ野郎あつ♥
アンタ…んっ♥
気狂ってんじや
ないの?!
死ねっ!!

んっ

フー
フー

黙れっ!

そんなクズに
犯されながら
乳首ビンビンに
してるのは
誰だよ♥

こんなに
気持ちいいことを
教えてやった
俺に感謝しろよ

しっぽ巻いて
逃げたアイツとじゃ
一生こんなセックス
出来ねえぜ♥

にしてもよお...

優斗の奴..
お前じゃなくて
美咲が犯されてたら
逃げたと思うか?

違うっ!
逃げたんじゃ
ない!!
優斗は..

おっと...♥
ようやく俺のが
馴染んできたか?♥

考えてみれば
優斗は——
一度も逃げたこと
なんてなかったよね
だっていつも
アタシがそばにいたから…

優斗はアタシのこと
女として見てくれたこと
一度でもあったのかな…

美咲はいいな…
優斗の大切な人で
いられて

アタシのほうが
先に好きに
なったのに…

それでも——
待つてんだよ
優斗がアタシを
見てくれるその時を

いつだって
優斗のそばで…



え？
なに？
この感覚…
イヤ！
邪魔しないで！！

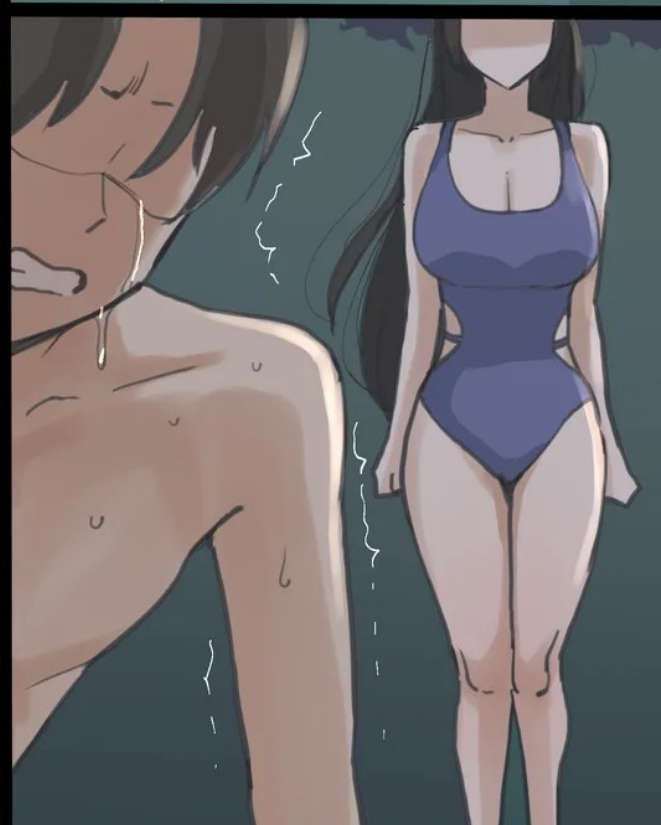
変なのが…
下から背筋を
這い上がって
くる…

そうだ…
アタシ
今セックス
してるんだ！

ああ…
この感覚…
これが…
セックス…？

アタシ 結局
ほかの男に
初めてを
奪われたんだ…

おめでとさん♥
これでようやく
女になれたって
こった♥♥





ほら…

おいで

優斗のせいじゃないわ



おーい
由佳ちゃん♥
起きてんだろ？

一緒に
楽しもうぜ♥

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ

はー！
はー！
はー！

あーん
あーん
あーん

いや..
ダメ..
やめて..

ふーん
あくまで無視か
ならこの関係も
終わりだな

今回は
マジだから
な

翌日から涼子は俺たちの小屋には戻ってこなかった

さんざん強がってたくせに

もう自分から腰振ってんぞ

淫乱だな〜
涼ちゃん♥

俺は毎晩涼子と話そうと黒田の小屋に通ったが：

聞こえてくるのは涼子の喘ぎ声だけだった

イけ♥

おお

お

い

ぬちゅっ

ぬちゅっ

ぬちゅっ

ん
ゴザン

あ

昼から
ほぼぶっ通しで
やったのに
まだガチガチなの？♥

こんな
エロいケツ
見せつけられて
我慢できる男
いねえよ

変態野郎♥

あー♥

ぬちっ♥

くぱあ〜♥

いいだろ？
涼ちゃん♥
早くやろうぜ♥
次はマンコに
挿入れっから♥

ほんとイかれてる…
アンタお猿さん？
もう寝る時間だって♥

メスより
先に寝るとか
オス失格だろ〜♥

ぬちっ♥

んっ♥



臍内とろっところで最高
マンコ気持ちいいか？
涼ちゃん♡

あんっ♡
気持ちいい…
セックス好き♡

はぁあぁあ…♡

お前のこんな
エッロい顔
優斗は絶対に
見れねえだろうな♡

涼ちゃんのベロ
柔らか♡

キスも
好き♡

ポルチオ
こねられてる
メスのトロ顔♡



涼…！

あ…
また…♡

なあ涼子!!
出てきてくれ!
せめて話だけでも!

ねえなんで
毎晩小屋の前
うろついてんの？
アンタ変態？

おいおい優斗
お前そんな趣味
してたのか？

外で話そう
涼子！

優斗見える？
黒田のチンコが
ずっぶり刺さってて
出られないの♡

アンタのって
コイツのよりデカイ？
見せてみなよ
デカけりゃ話したげる♡

入っていいぞ
中でシコってろ笑

れろ♡

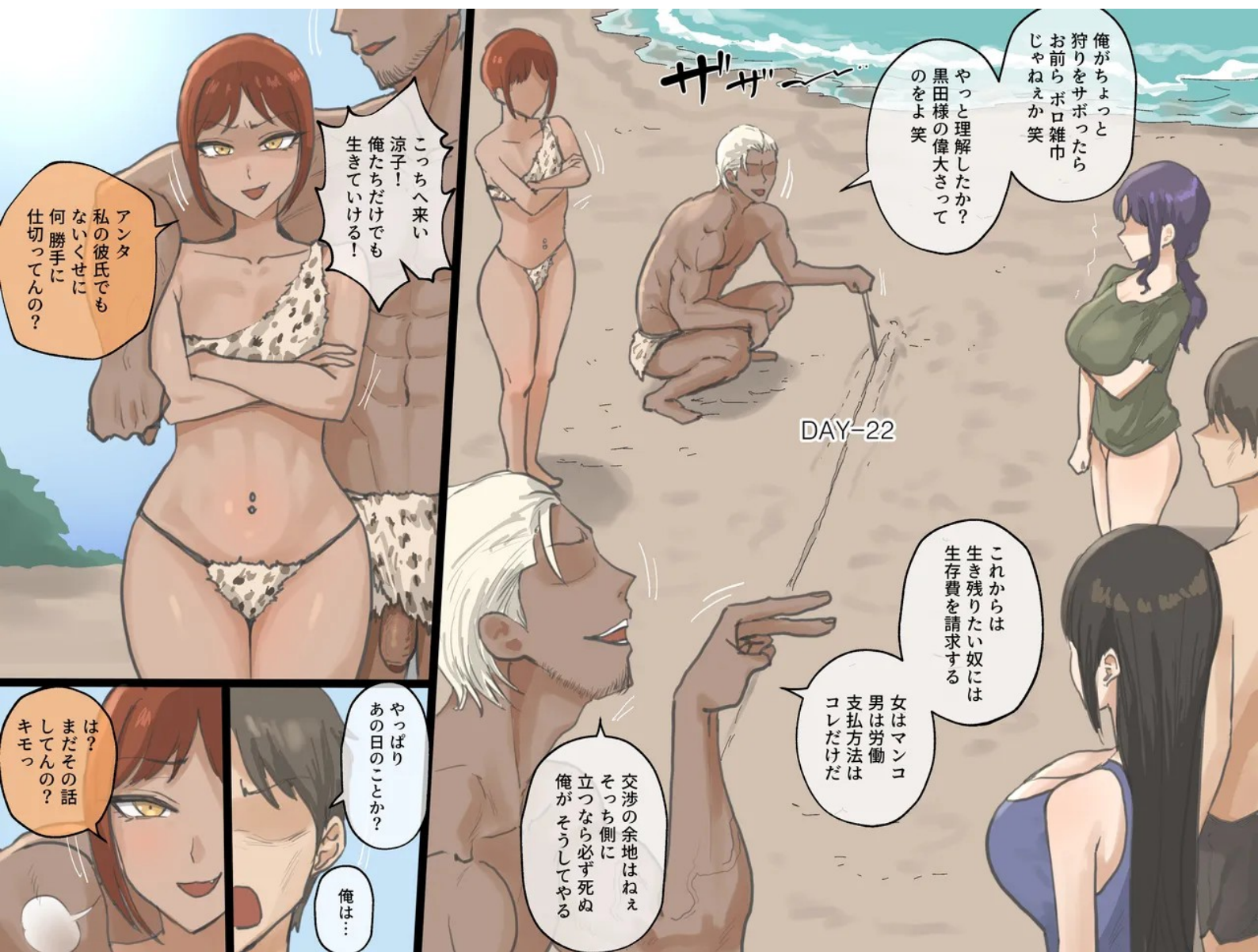
ぬぢ♡

涼子…
戻ってきてくれ
みんな待ってる
んだ…

見せる度胸も
ないなら失せろ
邪魔だから♡

…





俺がちょっと
狩りをサボったら
お前らボロ雑巾
じゃねえか笑

やっと理解したか？
黒田様の偉大さって
のをよ笑

DAY-22

これからは
生き残りたい奴には
生存費を請求する

女はマンコ
男は労働
支払方法は
コレだけだ

交渉の余地はねえ
そっち側に
立つなら必ず死ぬ
俺がそうしてやる

やっぱり
あの日のことか？

俺は…

こっちへ来い
涼子！
俺たちだけでも
生きていける！

アンタ
私の彼氏でも
なくせに
何勝手に
仕切ってるの？

は？
まだその話
してんの？
キモっ



そうそう
実際にやってみたら
セックスって
最高だったよ♡

それともこう
言ってみたら
分かんない？
弱っちい男には
心底うんざりなの♡

反論ないなら
これで終わりね
アタシたち
今から昼食だから♡

それに黒田を選ぶ理由なんて
他にもいくらでもあるし♡



そうだよ…
僕は太した
男じゃない…

…でも
周りの人のおかげで
今まで生きてこられた

俺には
涼子が必要なんだ…
いつでも戻ってきて
ずっと待ってるよ…

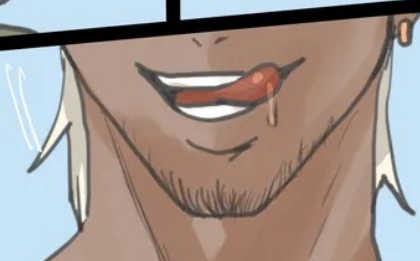
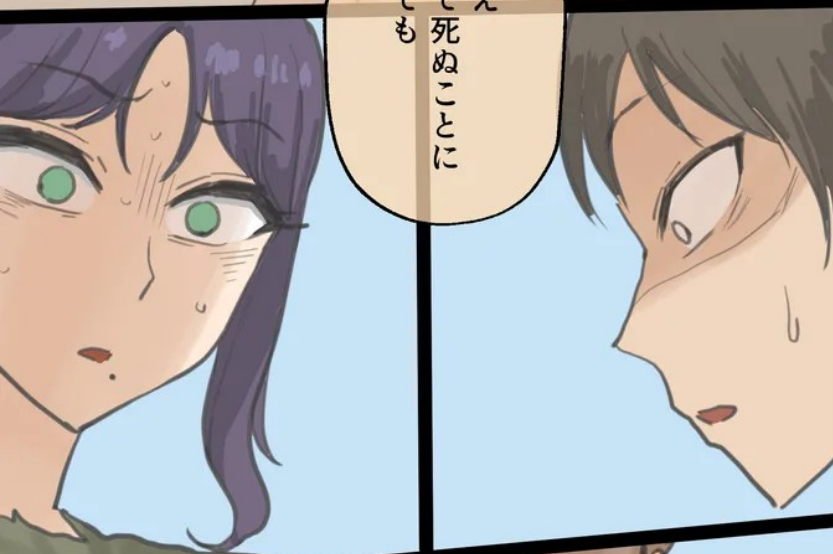


はいはい♡
じゃあ回れ右して
美咲のおっぱいでも
吸ってなクズ♡

俺にとって涼子は
家族も同然だから



たとえ
ここで死ぬことになっても

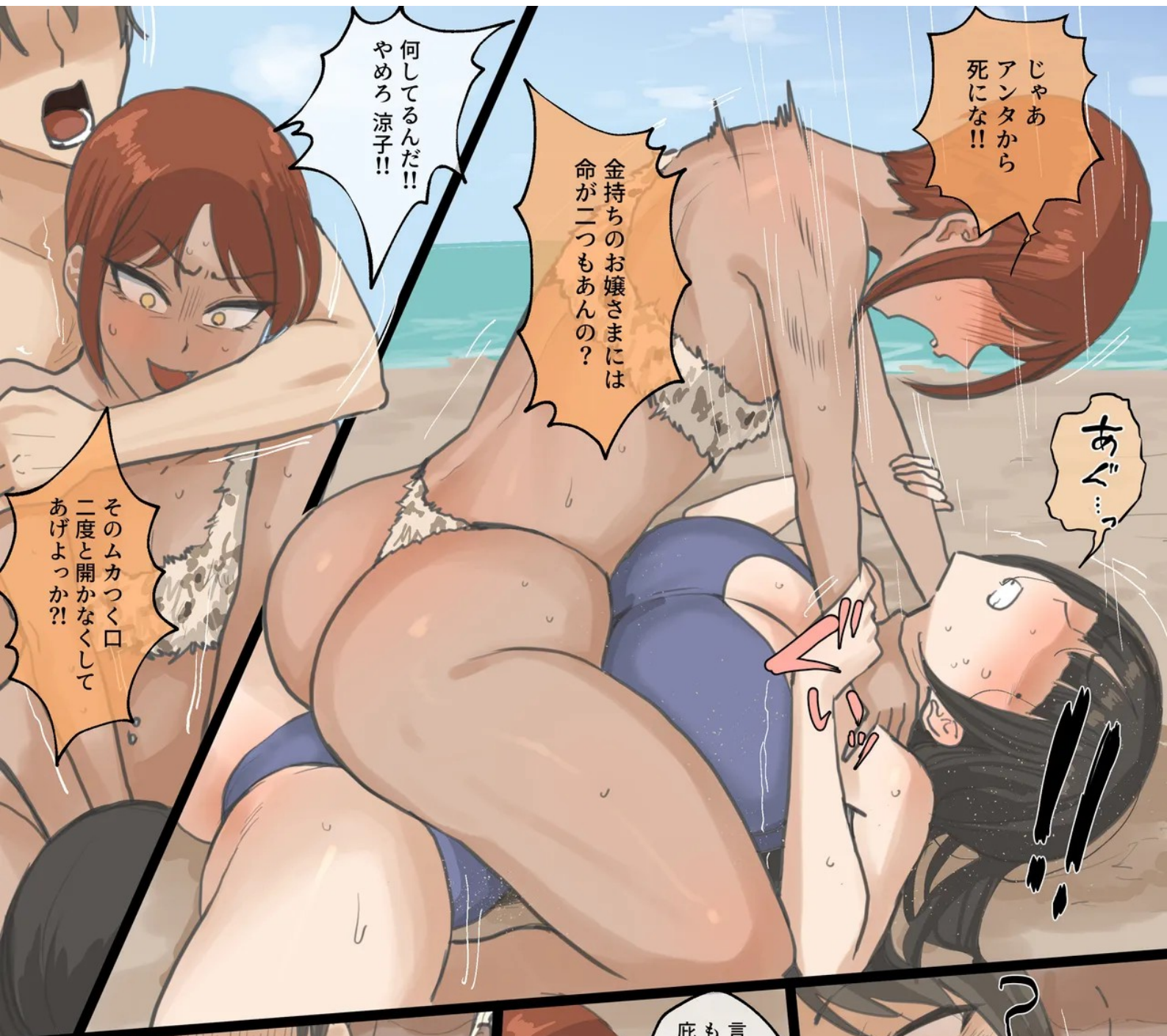


もう十分でしょ
優斗はずっと
あなたを心配してたわ
自分を責め続けながら…

あの日のことだって
挑発に乗った
あなたにも
非があるでしょう
だからいい加減
戻ってきなさい

こんな姿
あなたらしく
ないわ

あんなクズのせいで
あなたまで
下衆に堕ちる必要は
ない





黒田くん
ダメっ!!

やっぱり…
この状況を
狙ってたんでしょ?

5年前から
まったく
変わってない

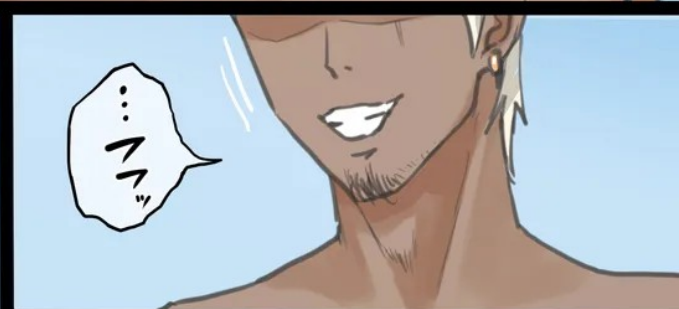
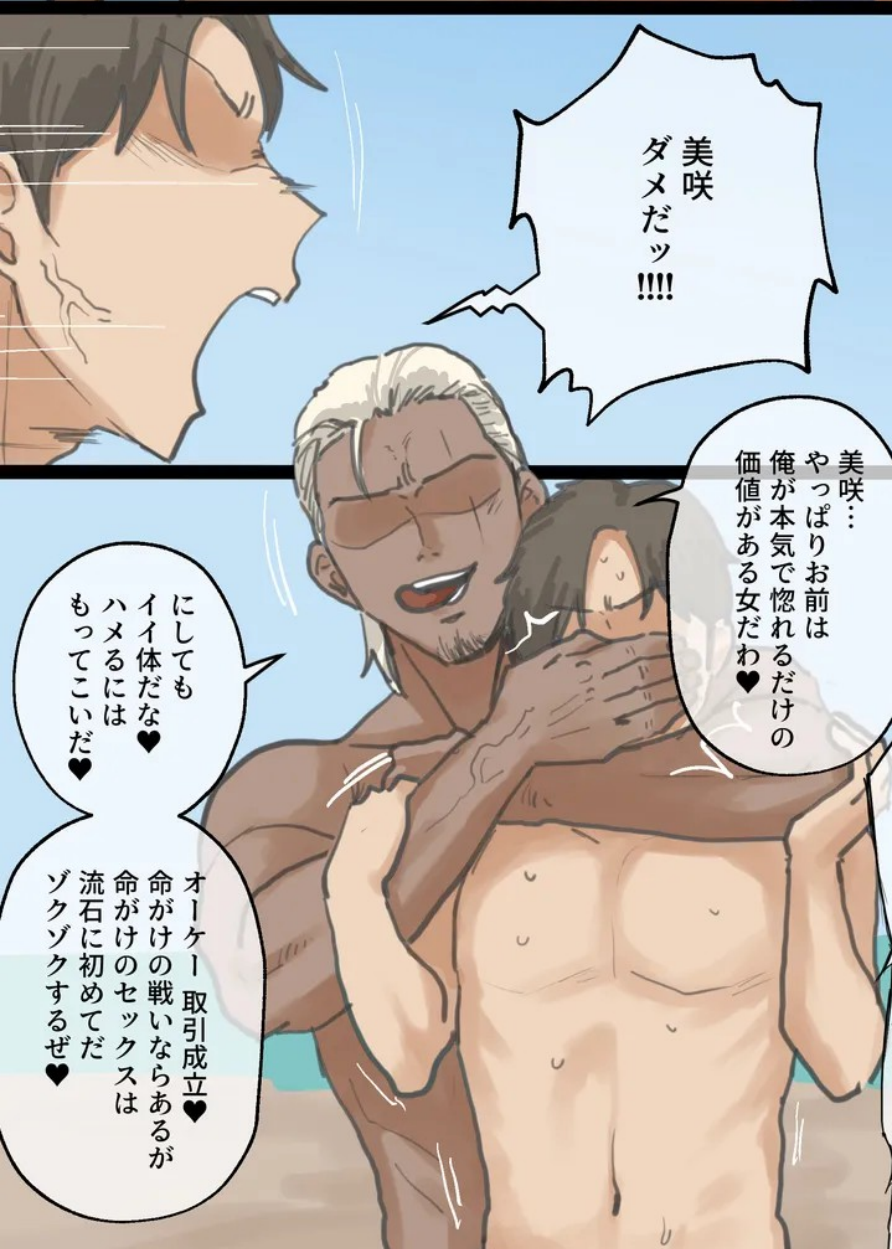
いいわ…好きにすれば?
あの頃からずっと
私が欲しかったんでしょ?

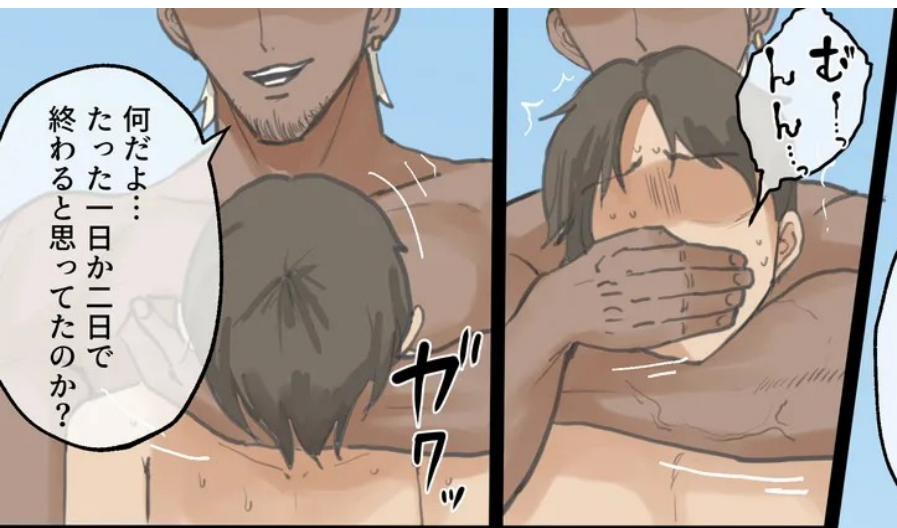
ただ一つ覚悟しなさい
私たちを敵に回したら

今後お前には
安らかな夜は来ない

お前本当に
涼子を信用
しているの?

は? 美味…
まだ分かんないの?
アタシはもう二度と
アンタらの元には
戻らないんだよ!





何だよ…
たった一日か二日で
終わると思ってたのか？

ガッ

む…
ん…



ふん

ふん

そんじゃあ
思う存分
楽しもうぜ
よろしくな
美咲♥



まさか軍での
地獄のシゴキが
こんな形で
役立つなんてな…

俺の不眠記録は
最長6日間だが
お前はどこまで
耐えられる？



DAY-22

美咲との取引
1日目

なんでアタシまで
拘束されんの？
まさか美咲の妄想を
真に受けてるとか？
ほんとムカつく!!

協力するって！
美咲なんて
さっさと墮として
アタシとやろうよ！

ははっ
心配すんなよ
涼ちゃんのことほ
マジで信頼してる♥
ただ美咲の条件に
ノってやってるだけだ
ゲームは公平性が
命だからな♥

じゃあ美咲が
調子に乗らないよう
ちゃんと分かせてよ！

ククッ
わかったって♥
もうちょい待ってろ
パパッと終わらせて
遊んでやっからよ♥♥

こいつ...
確かに気がかりね

恥ずかしがり屋の
乳首ちゃん
みくつけた♡

まさか涼子まで
拘束するなんて...

ほらほら♡
乳首ちゃん
出ておいで♡

れろんっ♡

れろ♡

むいっ♡

優斗...大丈夫よね?
勝手なことしてごめんね
でもこのままだと
こいつがおばさまにまで
手を出すのは
目に見えてるから...

私が
殺してやる...
絶対に...

あそうだ...
お前優斗と
やったことあんの?
初めてはいつよ?♡

ぢゃるる♡

答えろよ
美咲♡

美咲…
昨日の
大丈夫だった？
俺初めてで
緊張してさ…

うん…もちろん
気持ちよかったよ♡
全然痛くもなかったし

そうだ…！
次の日曜日
私の家来ない？
誰もいないから
…♡

本当？
行くよ！

おっ
もしかして今
初体験の時
思い出した？♡

あ…っ

それと…
多分その日は
安全日…かも？♡

ダメ…
危ないよ！
ちゃんと
ゴム用意
するから

え…優斗は
シたくないの？♡
私なら大丈夫だよ
優斗が望むことなら
なんでもしてあげる♡

はは…
そういうのは
結婚まで
取っておこうよ

あーん♡

またな
乳首ちゃん♡

黙って…
その汚い口を
開かないで

れる
れる
ちゅる♡

ほら見ろよ♥
乳首出して
やったんだぜ
挨拶しろよ♥

…ふんっ
あくまでも
無視決め込む
つもりか？

くっ
くっ
くっ

ノってくれた方が
すぐ射精できるぞ？
したら疲れて
眠くなるだろ？
協力するのが
吉だと思うがな♥

もっかい聞く…
これ好きか？♥
興奮したか？♥

はあ…情けな
たかが乳首が片方
見えただけで
馬鹿みたいに喜んで…
お前こそ
好きすぎじゃない？

優斗よりも
時間かかってるし
こんなもの？
まったく感じ
なかったけど？

あー…
マジか？
ククッ



あー…
えっろ…♥
健康なメスの
ニオイ♥

うあつ…
なに…っ！

このクズ野郎
何してるのっ?!

マンコ検査

おっまったく
濡れてねえ…
スゲエじゃん
マジで感じて
ねえの？

きれいな
ピンク色♥



やだっ…

チンコ爆発
しそうだわ笑



殺す殺す殺す…

なるほど、
美咲のマンコは
こういう味ね♥



そんなトコを
回で…？
気持ち悪い…

優斗にクンニ
されたことある？
まあこの反応だと
なさそうだな笑



汚い指で
そこを？

アイツのサイズで
慣らしてみつか？

指一本...？

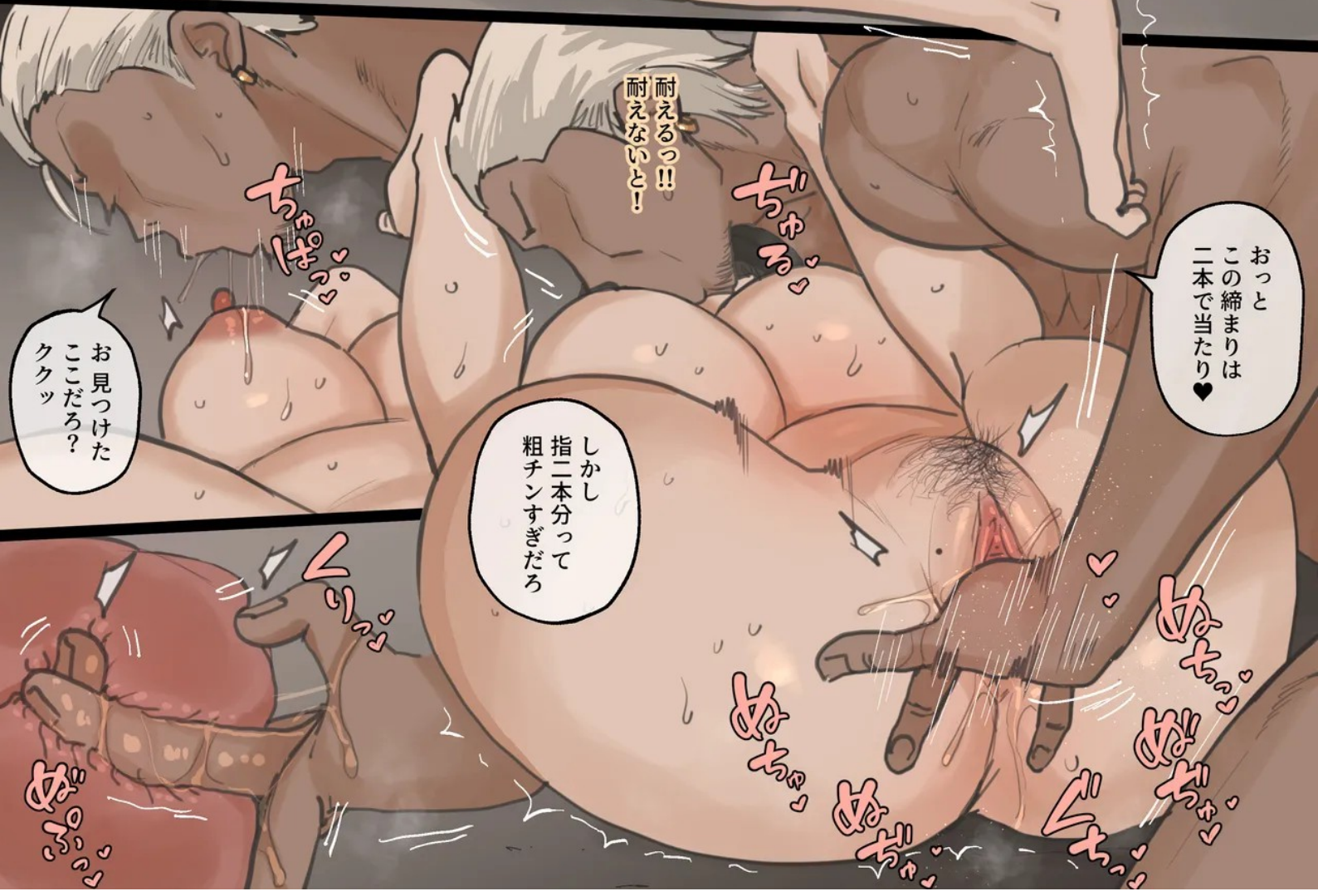
それとも
二本か？

んっ...
膣内は
濡れてるか

女性への敬意なんて
欠片もない最低男！

こんなのを
好きになる女
いるわけないっ！

んっ...
♡♡♡



耐えるっ!!
耐えないと！

ちゅる♡

ちゅる♡

おっと
この締めりは
二本で当たり♡

しかし
指二本分って
粗チンすぎだろ

お見つけた
ここだろ？
ククッ

ぬるっ♡
ぬるっ♡
ぬるっ♡

ぬるっ♡
ぬるっ♡
ぬるっ♡

最悪の展開だ！
アタシ一人でも
あと少しで
やれたはずなのに…

やっぱり美味も
アタシと同じ考え
だったんだ！

このクズ
無駄に用心深い…
あれだけしたのに
まだアタシを
信用してないのか！

絶好のチャンス逃した…
この首輪さえなければ
簡単に殺せたはずなのに…

ちゅるるる♡

よく耐えれんな？
そこまで意固地になる
必要ねえのに

どうする？
おばさんも
限界が近いかも
しれない！

うお…見ろよ
糸引いてんぞ♡
指がふやけちゃう♡

ぬちゅ♡
ぬちゅ♡
ぬちゅ♡
ぬちゅ♡
ぬちゅ♡

覚悟しろよ
俺のは優斗のとは
次元が違うぜ

なによ
このサイズ
気味が悪い

あらら...
さっきまでの
余裕な表情は
どこいった?

1分ももたずに
ぐずぐず泣きながら
後悔することになるぞ

クリも
ぷっくりじゃん
美味♡

ふざけないで...

ああ
うう

ああ...
やだ...田

ぬふ...

ドキ

くちゅ♡

ドキ

くちゅ♡

くちゅ♡

ああ…♥
チンコ溶ける♥
美咲マンコ
最っ高だわ!

よく覚えとけよ
この太さも形も
膣内に刻みつけて
やる

きゃーん♡

これ…嘘でしょ?
触れちゃいけない
ところにまで
届いてる…

あああ♡

優斗は届かないところまで
無理やり押し込んでくる…

吐きそう…

…は?

オーダーメイド
かっつくくらい
キツキツな上に…
チンコに絡みつく
ヒダ…

体温より少し
高いくらいの温かさ…
ヒダの感触を損なわない
完璧な濡れ方…

そしてこの膣圧…
ただ狭いだけのとは
レベチだ…

嘘だろ?

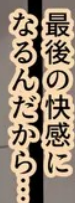
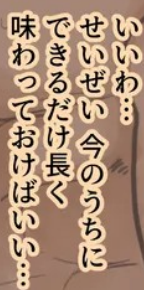
ぬぢゅ♡

動いてねえのに
マンコがうねって
搾ってくる…♡

なっ?!

ちよっ…
なんだよ…
このマンコ…

あっ♡





にしても
お前のマンコ…
一体どうなっ
たんだ？♡

今まで何百人も
抱いてきたが
俺を早漏にする
マンコなんて
初めてだわ♡♡

おっと？
なに焦ってんだよ♡
俺はまだ寝てねえぞ♡

死ねっ!!

ガッ

どいっ♡



涼子…
俺たちまだ
友達だよな？

やっと見つけた
俺のチンコに
ドンピシャの
マンコ♡

美咲…♡
やっぱりお前は
俺の女になれよ♡

ゆー！優斗？！
目が覚めたの？

優斗！

やっぱり…
俺の知ってる涼子だな
どうして相談してくれ
なかった…

美咲のこと
本当にごめん…
アンタにあんな
酷いことしたのも…

黒田の信頼を
得るために
仕方なくで…

アイツ…
アタシが寝てるか
頻繁に確認するほど
だったから…

アイツを完全に
騙そうとしたせいで
全部台無しにして
しまった…

いや…
まだ終わってない
これ…隅で
見つけたんだ

受け取って…
美咲を救ってくれ

頼む…
母さん…
涼子…

この悪夢を
終わらせてくれ…っ